

伊奈町いきいきミーティング

伊奈町民討議会

実施報告書



テーマ：おいでよ！緑の無線山

～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～

JCI  **公益社団法人 埼玉中央青年会議所**

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3階

Tel:048-647-3315 Fax:048-647-3316 e-mail:office@jc766.com

<http://www.jc766.com>

共催：伊奈町 協力：伊奈町商工会青年部

はじめに

この度は、私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所が主催しました伊奈町いきいきミーティング「町民討議会」にご理解とご賛同を賜り、ご参加いただきました皆様へ心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。また、ご共催をいただきました伊奈町長、野川和好様をはじめとする行政の皆様、そして伊奈町商工会青年部の皆様におかれましては、本町民討議会を通してご指導ご協力を賜りました事に深く御礼を申し上げます。

青年会議所は“明るい豊かな社会”の実現を理想として活動する世界規模の青年団体であり、日本国内には私たちと同じ青年会議所が696ございます。36,000名以上からなる会員が其々、地域の未来に向けてまちづくり運動や自己研鑽に日々励んでおります。そして今年度、私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所は“心豊かな地域の創造に向かって”という基本理念のもと、さいたま市・上尾市・伊奈町で輝き誇れる我がまちの創造を実現するべく運動展開しております。

3年前から開催しております、この伊奈町いきいきミーティング「町民討議会」は皆様のご協力のもと、今年で4回目の開催を迎える事ができました。ご参加いただきました皆様には中立的なテーブルサポーターと協力して多様な意見を出し合い、其々のグループでそれらを纏めていただきました討議の結果は大変貴重なご意見です。今回は“おいでよ！緑の無線山〜魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること〜”をテーマに積極的な意見を出し合っていたいただきました。この討議会で導きだされたご意見をもとに報告書を作成し、民意として伊奈町様へ提言書をお届けいたします。それが今後の伊奈町におけるまちづくりに反映され、町民が理想とするまちの実現に向けた一助となる事を会員一同、心からご祈念申し上げます。

私たちは、まちに住み暮らす人々が当事者意識を持って積極的にまちづくりに関わり、まちの理想の姿を形にしていくことが、より良いまちづくりに繋がると考えております。地域に住み暮らす人達だからこそ分かることがあります。私たちはサイレントマジョリティと言われる主婦やサラリーマン、学生の方々もまちづくりに参加できる機会を創出し、町民参加・町民協働によるまちづくり運動を推進して参ります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜り、共に運動できる事を切にお願い申し上げましてご挨拶といたします。

2014年10月

公益社団法人埼玉中央青年会議所

理事長 星野 真一

目次

I 事業概要	3
1. 本報告書の位置づけ	3
2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程	3
3. 町民討議会とは	4
4. 伊奈町民討議会の特徴	4
5. 伊奈町民討議会開催概要	5
6. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要	6
7. 伊奈町民討議会報告会開催概要	7
II 企画から実施までの流れ	8
III 討議会結果及び提言	13
討議テーマ: おいでよ! 緑の無線山～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～	
① 各グループまとめ討議結果(討議会)	13
② 投票結果及び委員会考察	18
③ 各グループまとめ(報告書作成会意見)	19
④ 町民提言・補足説明	22
IV アンケート結果	24
1. 不参加者事前アンケート	24
2. 参加者開催前アンケート	27
3. 参加者アンケート	33

【参考資料】

- ① 「平成 26 年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書(押印なし)
- ② 参加依頼書及び同封した開催主旨
- ③ 参加決定通知書及び同封した当日の参加者ガイドブック
- ④ 情報提供者資料
 - ・さいたま緑のトラスト運動(埼玉県環境保全課資料)
 - ・おいでよ! 緑の無線山(伊奈町都市計画課資料)

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下、青年会議所という。）と伊奈町（以下、町という。）が共催で実施した『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』における参加者の討議結果について、『「平成26年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書』に基づき報告書としてまとめ、埼玉中央青年会議所から町に対して施策への反映を求め提出するものです。

2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程

町民討議会は、1970年代以降ドイツで始まった、行政への住民参画の仕組みです。ここ数年日本でも、主に青年会議所が主体となって運営をしております。地域住民がまちづくりに参画する新しい場として、また、地域住民の声の中でも特に最近重要視されている声なき声（サイレント マジョリティ）を行政へ届ける新しい手法として、今注目を集めています。伊奈町におきましては2011年に埼玉中央青年会議所が「伊奈町民討議会」を開催し、今年は4回目の開催となります。

「伊奈町いきいきミーティング」は、本年5月23日に町と青年会議所がパートナーシップ協定を結び、準備を進めて参りました。運営方法などについて議論を重ね、「町民討議会」における提言がより町民の皆様の声を反映させるものであるように、当年度におきましては、前年までの「伊奈町民討議会」参加者に、討議会においてグループ毎の討議の進行役であるテーブルサポーターとしてご活躍いただきました。

以下の通りの日程で町民討議会を開催いたしました。

[日程]

2014年 5月23日（金） パートナーシップ協定締結

2014年 8月23日（土） 事前勉強会
場所：埼玉県県民活動総合センター2階 209セミナー室

2014年 9月 6日（土） 町民討議会
場所：伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる）2階 会議室1・2

2014年10月 4日（土）町民討議会報告書作成会
場所：伊奈町役場3階 第1会議室

2014年10月26日（日）町民討議会報告会
場所：日本薬科大学 セミナー室

3. 町民討議会とは

町民討議会とは、無作為抽出による市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて、情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす住民参画手法のひとつです。ドイツの住民自治手法である「プランungskスツェレ（計画細胞）※」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の住民参画手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の役員など、いつも決まった顔ぶれであることが多いのに対し、町民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち（サイレントマジョリティ）の意見を吸い上げることが出来ます。

※ プランungskスツェレ（Planungszelle=計画細胞）とは？

ドイツのペーター・C・デーテル教授が1970年代に考案し、実施されている新しい市民参画の方法です。英語にすると、プランningセル『計画細胞』となります。無作為抽出の市民が様々な行政・政治課題に対し討議を重ね解決策を探るプランungskスツェレは、民主主義の刷新を図る具体的方法として注目を集めています。

○特徴

- ① 参加者は無作為で抽出する。（住民基本台帳等の利用）
- ② 有償で一定期間の参加。（4日間が基準）
- ③ 中立的独立機関が実施機関となり、プログラムを決定する。
- ④ 原則30名で構成。
- ⑤ 専門家（利害関係の場合もある）から情報提供を受ける。
- ⑥ 毎回メンバーチェンジしながら、約5人の小グループで討議を行う。
- ⑦ 「市民答申」という形で報告書を作成し、参加した市民が正式な形で委託者に渡す。

4. 伊奈町民討議会の特徴

- (1) 伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、無作為抽出で選ぶ。
- (2) 有償で討議参加を依頼する。 ※3,000円のお買い物券
- (3) 過去の「伊奈町民討議会」参加者の中からテーブルサポーターを募集し、事前勉強会を経た上で、討議会に参加していただく。
- (4) 埼玉中央青年会議所がプログラムを選出し決定する。
- (5) 1日で1討議を行う。
- (6) 1グループは、5名とテーブルサポーター2名で構成する。
- (7) 「報告書作成会」の実施。
- (8) 報告会の実施。
- (9) 報告書と同時に提言書を提出。

5. 伊奈町民討議会開催概要

(1) 伊奈町民討議会の目的と成果

住民参画・住民協働によるまちづくりを推進することを目的として、青年会議所と伊奈町で伊奈町民討議会を共催することとしました。

住民基本台帳を使用して無作為抽出した町民に参加依頼書を送付し、参加申込みいただいた方で討議会を行いました。5テーブル各3つ程度のまとめの意見を発表いただき、投票を経て順位付けをしました。また、その内容を考察し、まとめました。

(2) 開催日時

2014年9月6日(土) 13:30開会

(3) 開催場所

伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる) 2階 会議室1・2

(4) 参加人数

討議者20名(男性8名、女性12名)

テーブルサポーター3名(男性1名、女性2名 討議会経験町民)

テーブルサポーター4名(日本薬科大学 学生)

(5) 参加者選出方法

住民基本台帳より16歳以上の男女1,500名を抽出、参加依頼書を送付(定員30名)

(6) 討議テーマ

「おいでよ!緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～

(7) 討議進行方法

- ① 参加者の中で年代・性別・地域がバランスよく集まるように実行委員会があらかじめ決めたグループ各5名とテーブルサポーター2名で構成。(一般からのテーブルサポーター及び日本薬科大学の学生がそれぞれ参加する)
- ② 報提供者によるテーマに関する情報提供を受ける。
- ③ グループの中で、発表者を決める。
- ④ グループ毎に討議用紙を使い、意見の提案・集約を行う。
- ⑤ 発表者により、グループ毎の討議結果を発表する。
- ⑥ 参加者1人あたり5ポイント分のシールを使い、同意する意見に投票する。

グループ名	討議者氏名
テーマ:	
まとめ1	
まとめ2	
まとめ3	
残したい意見	

グループまとめ用紙

(8) 当日タイムスケジュール

時 間	内 容
13:30	開会
13:31	主催者代表挨拶
13:35	伊奈町長挨拶（代理：伊奈町企画課長渋谷様）
13:40	事業説明（趣旨・進め方など）
13:55	討議. 「おいでよ！緑の無線山」 ～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～
14:05	情報提供
14:25	討議
15:40	まとめ
16:00	発表・投票
16:30	アンケート記入
17:00	閉会

6. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要

(1) 開催日時

2014年10月4日（土）14:00開催

(2) 開催場所

伊奈町役場3階 第1会議室

(3) 参加人数

公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー 7名

地域住民14名(男性6名 女性8名)

(4) 参加者選出方法

討議会に参加した地域住民の希望者と公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー及び日本薬科大学学生

(5) 討議テーマ

討議結果を踏まえ、提言をとりまとめる

(6) 討議内容

まず、9月6日に行われた討議会にて各テーブルから出された意見をまとめました。その上で最終的に、地域住民と行政の双方が今後なにをすべきか、という観点から『町民提言』のとりまとめを行いました。

(7) 当日タイムスケジュール

時 間	内 容
14:00	開会
14:01	主催者代表挨拶
14:04	事業説明
14:10	討議. 「おいでよ!緑の無線山」 ～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～
15:15	まとめ
14:35	提言発表・承認
15:45	閉会

7. 伊奈町民討議会報告会開催概要

(1) 開催日時

2014年10月26日(日) 14:00開催

(2) 開催場所

日本薬科大学 セミナー室

(3) 参加人数

公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー 9名

地域住民18名(男性7名 女性11名)

(4) 内容

10月4日に行われた報告書作成会にてまとめていただいたものを、『町民提言』として青年会議所でまとめ、補足説明も含めて皆様にご報告し、承認をいただきました。

(5) 当日タイムスケジュール

時間	内 容
14:00	開会
14:01	主催者代表挨拶
14:06	伊奈町長挨拶(代理:伊奈町副町長福田様)
14:16	委員長挨拶
14:20	町民討議会報告
14:30	質疑応答
14:40	総評
14:45	お買い物券贈呈
14:55	閉会
14:56	懇親会

Ⅱ 企画から実施までの流れ

【パートナーシップ協定締結】

公益社団法人埼玉中央青年会議所は、この町民討議会をより公平・公正で中立的に開催するため、2014年5月23日に、伊奈町と『パートナーシップ協定』を締結しました。特に、個人情報の取扱いについては協定書内に特記事項として明記し、その責任を明確にしました。この協定締結により、『伊奈町いきいきミーティング～伊奈町民討議会～』がスタートしました。

【事前告知】

A2サイズのポスターを50枚作成し、公共機関を中心に掲示して頂き、開催の有無を告知しました。また、伊奈町の広報紙上でも告知をし、私共公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町が、まちづくりを考える過程で地域住民の声を必要としていることを広く発信しました。



ポスター



チラシ

【事前準備と募集】

5月に伊奈町と締結したパートナーシップ協定をもとに、住民基本台帳を使用し、伊奈町民16歳以上の男女を1,500名無作為に抽出しました。選ばれた1,500名には伊奈町の封筒を使って参加依頼書と不参加アンケートと参加申込書・開催趣旨を発送しました。

発送数1,500通に対して

- ① 参加承諾28名(男性15名・女性13名)、実質参加者20名(男性8名・女性12名)、テーブルサポーター3名(男性1名・女性2名)

参加承諾28名には参加決定書と情報提供資料・討議プログラム・事前アンケートを送付しました。

② 不参加者事前アンケートとして、190通の返信をいただきました。

【不参加アンケート・事前アンケート】

事前アンケートでは、不参加アンケートと参加者事前アンケートの2種類作成し、不参加アンケートは当日どうしても参加できない方に町民討議会への意識調査を実施しました。また参加者事前アンケートでは、参加を表明していただいた地域住民がどのような人たちか（年齢・性別・職業）を中心に調査を実施しました。

【8月23日（土）伊奈町いきいきミーティング 事前勉強会】

テーブルサポーターとして討議会にご協力されることを事前に承諾頂いた町民の皆様、テーブルサポーターの役割とルールについてご説明し、模擬討議を行ないました。



テーブルサポーターの役割について 講師：白川裕司氏

テーブルサポーターは緊張する討議者の気持ちを和らげる場の盛り上げ役であり、意見を誘導しないことをご説明しました。

「模擬討議」

模擬討議では、前年参加された町民討議会の雰囲気を出していただくべく、今回の討議会と同じテーマで、テーブルサポーターさんにテーブルサポーターの役割について模擬討議を通して、ご理解いただきました。

【9月6日（土）伊奈町いきいきミーティング 伊奈町民討議会】

テーマ：「おいでよ！緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～
町民討議会当日は、20名にご参加をいただきました。集まった地域住民の方々にテーブルに分かれていただき、冒頭の主催者挨拶の後、副町長からご挨拶をいただいてスタートしました。進行説明・ルール説明を行った後に、「おいでよ！緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～というテーマで討議を行いました。



星野理事長の挨拶



町民討議会ルール説明



企画課長渋谷様挨拶



討議の様子

各テーブルから発表者を決めてもらい一人持ち時間2分程度でそれぞれのまとめを発表していただきました。



発表・投票の様子

【事後アンケート】

事後アンケートでは、実際に参加していただいた方々へ参加してみての感想を中心に調査を実施しました。

【10月4日（土）報告書作成会】

9月6日の町民討議会の結果をもとに、討議会に参加いただいた地域住民の希望者と伊奈町及び公益社団法人埼玉中央青年会議所で、報告書作成会を開催しました。討議会で討議に参加された町民の皆様が投票した結果を、公益社団法人埼玉中央青年会議所が集計し、その結果をもとに報告書作成会に参加された町民の皆様が「町民は、～をします。」と「行政は、～が必要です」との形での提言を提案され、集約し、参加された町民の皆様のご賛同の拍手を得て、本町民討議会における提言としました。



報告書作成会の様子

【10月26日（日）報告会】

10月4日に作成した報告書を伊奈町に提出する報告会を開催しました。当日は福田副町長にお越しいただきご挨拶いただきました。取りまとめた内容を発表し、討議会の結果、地域住民がどのように考えているのかを発表するとともに、町民討議者より感想を述べていただきました。



副町長福田様挨拶

【謝礼の支払い】

討議会当日に参加いただいた地域住民の方々に謝礼として伊奈町商工会発行のお買い物券3,000円分を進呈しました。これは、参加者に時間を割いていただいていることも理由のひとつですが、町民の代表としての仕事と捉え参加していただくとともに、多様な立場の方々に参加していただけるよう、謝礼の進呈は必要と考え実施しました。進呈は報告会の最後に行い、当日出席できない方には郵送（受取人払い）にて発送しました。

今後、本報告書と提言は、伊奈町のホームページや公益社団法人埼玉中央青年会議所のホームページ上にて閲覧・ダウンロードをできるようにし、伊奈町の発行する広報紙にて結果報告します。

公益社団法人埼玉中央青年会議所 HP

<http://www.jc766.com/>

伊奈町 HP

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/index.html>

Ⅲ 討議会結果及び提言

①各グループまとめ 討議結果（グループA）

グループA	柴崎、佐藤、鈴木、角田、鳴澤	
カテゴリー	個別意見	
イベント	・ タケノコ採り、キノコ採り	
	・ 植物観察	
	・ 紅葉狩り	
	・ 竹を使ったおもちゃの販売	
	・ ポイントをつくり、スタンプラリー	
	・ 野外コンサート	
	・ 野草探し	
	・ 昼の観察会	
	・ 町おこしとして、子供用にカブトムシをとれるように。	
	・ 野鳥の観察会	
	・ 蛍の宿泊	
	・ 落ち葉拾いで焼き芋	
環境	・ 見守り隊を作る	
	・ 松木の修理	
	・ ごみひろい	
	・ 落葉を集め、腐葉土作り支援	
	・ 樹林地の落ち葉拾いの運動	
設備	・ 官舎の利用	
	・ 公園をつくる	
	・ トイレの設置	
	・ コンビニ設置	
	・ 手作りベンチの作成	
	・ 子供が遊べる施設を。	
	・ 街灯作り。	
	・ アスレチックの作成	
資金・その他	・ 自然の会の作成	
	・ 無線山四季の会を作ってPR	
	・ 自然観察のイベントを町民に報告	
	・ 無線山について説明者を集める	
	・ 民地を買い取り	
	まとめ	得票
まとめ1	環境整備するための活動	12
まとめ2	安心して13号地で楽しめるための設備整備	5
まとめ3	大人も子供も楽しめるイベントを	7
備考	PR活動の充実	1

討議結果（グループB）

グループB	松本、片山、田口、山口、	
カテゴリー	個別意見	
イベント・価値を高める	・桜だけでなく、四季ごとにイベントを行う。	
	・学校が近いので、若者たちが参加できるイベントを開催	
	・音楽祭の開催	
	・周辺トラスト地との連携を図るイベントの企画	
	・木登り大会	
	・木に名前、スタンプラリーができるように。	
	・草花の有名な場所をつくる。（カタクリ芋）	
	・薬科大と連携して、薬草園・ハーブ園をつくる。	
	・ゴミ拾い大会を開催	
	・木の種類を増やし、国の農林省を誘致	
保護	・駐車場や駐輪場の整備	
	・道路の改修	
	・トイレ・ベンチの設置	
	・水道の設置	
	・周辺の人が来やすいように交通網の整備	
	・散歩して安心な場所とする	
	・街頭の設置	
	・遊歩道の設置	
	・技術、機材を保有している地元企業の協力要請	
	・志久駅から無線山までの道路看板	
施設	・小川を作って蛍をみたい	
	・キャンプ場の設置	
	・遊具は不要	
	・野鳥の観察場を作る。	
	・ログハウスを建てて自然を楽しむ中心地とする。	
その他	・他のトラスト地域の見学	
	・本討議会の報酬をトラスト資金とする。	
	・桜まつりでは、地元のB級グルメを優先する。	
	・無線山という名称を変える	
	・小学校の教育に組み込む	
	・無線山にちなんだ食品等の開発	
	まとめ	得票
無線山の価値を高める	薬科大と連携して薬草園、ハーブ園をつくる	21
保全の方針	自然をまもりつつ、安心して散歩できる場所にする	6
みんなが楽しく集まれる場所づくり	野鳥を観察できる場を設ける	5
備考	子供の頃から親しめる場所とする。木登り大会、スタンプラリー、キャンプ等	3

討議結果（グループC）

グループC	島田、中丸、武田、岩崎、小峯				
カテゴリー	個別意見				
問題点・維持・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の寿命を考えて桜の若返りを考える、桜の植え替え ・害虫駆除 ・今のままの自然を最大限に残す ・人が来るのは良い反面、自然があらされるのは良くない ・自然を残しつつ暗い所をなくす ・桜の山と言えるほど多くの桜を植える ・子供達が探検できる施設 ・ラブホテルは取り壊してほしい ・ライトアップ ・障害を持っている人にも優しい環境作り ・常駐する管理人がいる管理棟を設置 ・自販機を設け、利益をトラスト費用とする ・いなまつりの寄付と同じように、トラスト寄付の呼びかけを行う ・桜の季節は駐車場を有料化 ・路線バスの運行台数を増やす ・樹木に名称の札をつける ・ボランティア活動団体を設置 ・ゴミの捨て方に工夫する。いつもきれいを心掛ける配慮、持ち帰りを徹底 				
	イベントを企画	<ul style="list-style-type: none"> ・トラスト地のツアーを企画 ・ボランティアガイドをつけて無線山探索 ・ジョギングコース ・スタンプラリーやクイズ等のイベント、子供達に関心を持ってもらう ・自然の中でのイベント（芋煮会等） ・気球で上空から無線山探索イベント ・写生会を行う ・障害者と連携して、森の喫茶店等企画 ・さくらまつりでのイベント企画（ダンス甲子園的な） ・学生と町民の交流がはかれるイベント ・秋の虫の声をきくイベント ・ラジオ体操する場所として利用 ・落ち葉等で焼き芋つくるイベント 			
		新アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフクラブ、乗馬等と連携して ・池、沼があると良い ・入場料をとって公園をつくる ・記念公園のようなキャンプ場をつくる ・子供が木登りできるようなところをしたい ・花木を植えて、一年中楽しめる場所とする ・果物の木を植えてフルーツ狩りができるスポット ・狸、キジなどの動物が身近で見られるように 		
			その他	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらまつりでは露店がないほうがトラスト的によいのでは ・町をあげてトラストPR、寄付金を広く募る 	
				まとめ	
					得票
			まとめ1	公園整備 桜の木の保全、遊歩道・トイレ・管理室の設置、バスの本数増、ゴミの持ち帰り推奨	5
			まとめ2	新しいイベントを企画	4
			まとめ3	周りの環境を利用したジョギングコース	9
			備考	ホテルをなくす（他、ゴミ拾いやボランティア、寄付金を募集）	6

討議結果（グループD）

グループD	小泉、倉橋、菊池、藤沢、佐藤、江崎	
カテゴリー	個別意見	
イベント	・楽しめるイベントを開催	
	・どんぐり拾い大会	
	・ワンワン競技会	
	・他イベントとのコラボレーション	
	・高齢者のためのイベントを開催	
	・ボランティアガイドによる観察会を増やす	
	・町おこしステージ・イベント開催	
	・桜まつりでの出店	
	・落ち葉遊びイベント	
	・撮影会	
	・学生の写生会に利用・指定する	
	・月一回の草刈	
安全な無線山	・トイレの設置	
	・道幅を広くしたい	
	・林道を整地	
	・生態系に配慮した夜間照明	
	・安全に散歩ができるように	
	・四季を通じて楽しめる環境作り	
	・中学生ボランティアの活用（授業の一環として）	
	・ゴミ箱の設置	
	・カブトムシ山、シマトネリコ植栽	
	・震災・災害時の避難場所	
	・がんセンター患者のリハビリ散歩道	
	・老木の植え直し	
	・年中楽しめる植物を植える	
	・駐車場を増やす	
	・町内会ごとの山歩会	
来て来て無線山	・多くの人に無線山のことを知ってもらう	
	・ウォーキングマップ作成	
	・参加しやすいボランティア活動を呼びかける	
	・トラスト保全地であることを周知させる。	
その他	・上尾、蓮田も近いので、そちらへのPR	
	まとめ	得票
みんなの無線山	桜まつりでのミスコン、美術の宿題	6
安全な無線山	道路整備、トイレの設置	7
来て来て無線山	ウォーキングマップ作成、広報活動	8

討議結果（グループE）

グループE	石川、さえき、星野、宮崎、みつい	
カテゴリー	個別意見	
情報発信	・ 地域への発信	
	・ 広報誌の発行	
	・ ニューシャトルの駅に案内掲示板	
	・ 伊奈の歴史の紹介	
	・ HPへ掲載	
	・ 伊奈忠次を世間に認識させ、緑地はそれを中心とする	
イベント	・ 自然観察会	
	・ 桜まつりの充実	
	・ 散歩、ジョギングコース	
	・ トラスト地を利用したイベント	
	・ 体験活動	
	・ シイタケ狩り	
	・ 親子虫取り大会	
	・ タケノコ掘り、バードウォッチング	
	・ 伐採した木での工作教室	
	・ 巣箱作り	
保全、設備	・ ボランティアによるゴミ拾い	
	・ 近隣企業への積極的なボランティア活動の呼びかけ	
	・ 歩道の整備	
	・ 子供向け昆虫館	
	・ 虫の分布図作成	
	・ 木の伐採（管理）	
	・ 休憩所設置	
	・ 街灯を付けるなど、安全面に配慮する	
	・ 樹齢等がわかるプレート	
その他	・ 学校行事との連携	
	・ 小学生の課外授業、	
	まとめ	得票
まとめ1	無線山のことを知ってもらえるように、広報誌やHPを使って情報発信する	11
まとめ2	多くの人の興味をひく体験型のイベントを催す（椎茸のコマ打ち、自然観察会、親子虫とり、クラフト作成）	4
まとめ3	遊歩道の整備、街灯の設置等による安全面の向上を図り、訪れた人の興味を引く物などを設置する。	3
備考	地域との連携（学校行事等）、昆虫館を作る	2

②投票結果及び委員会考察

テーマ：おいでよ緑の無線山～魅力あるトラスト保全地活用&私たちにできること

項目	得票合計	要旨
設備	21	薬科大と連携して薬草園・ハーブ園等をつくる。
	7	道路整備・トイレの設置
	5	安心して13号地で楽しめるための設備整備
	5	公園整備（桜の木保全・遊歩道、トイレ、管理室の設置、バスの本数増、ゴミの道帰り運動推奨）
	5	野鳥観察の場を設ける
	3	遊歩道の整備、街灯の設置等により安全面の向上、訪れた人の興味をひくものを設置
	46	多くの人に来て楽しめる設備が必要である。
環境・活動	12	環境整備するための活動
	9	周りの環境を利用したジョギングコース
	6	自然を守りつつ、安心して散歩ができる場所にする
	6	ホテルをなくす（他ゴミ拾いやボランティア、募金活動）
	2	地域との連携（学校行事等）
	35	無線山をより誇れる場所とする活動が必要である
イベント・企画	7	大人も子供も楽しめるイベント企画
	6	桜まつりでのミスコン、美術の宿題等で利用
	4	新しいイベントを企画
	4	多くの人々の興味をひく体験型のイベント（シイタケのコマ打ち、自然観察会、親子虫取り、クラフト作成）
	3	子供の頃から親しめる場所とする（木登り大会、スタンプラリー、キャンプ等）
	24	無線山を利用した多くのイベントが必要である
広報	11	無線山のことを知ってもらえるように、情報誌やHPを使って情報発信
	8	ウォーキングマップの作成、広報活動
	1	PR活動の充実
	20	まず無線山をよく知ってもらえるような情報発信が必要
まとめ		
1	伊奈町民は、多くの人に来て楽しめる無線山を求めています。	
2	伊奈町民は、自分たちの町にある無線山がより誇れる場所となるような活動の場を求めています。	
3	伊奈町民は、伊奈町が盛り上がるようなイベントを無線山に求めています。	
4	伊奈町民は、もっと無線山のことを多くの人に知ってもらえるように情報発信を求めています。	

③各グループまとめ(報告書作成会意見)

(※ 討議会のグループではなく、今回は3グループに分かれ、新たなグループ編成で意見を出し合いました。)

町民提言

テーマ: おいでよ!緑の無線山 ~ 魅力あるトラスト保全地活用 & 私たちにできること ~

グループ1

町民は..

1	町を挙げてボランティア活動をする。 ※落葉かき、巣箱掛け、ガイド教育、パトロール、花を植える、ベンチ作り
2	募金活動。 ※たけのこを売る、KDDIを利用する
3	

伊奈町は..

1	環境整備のための予算化が必要!(トイレ、照明、広場、遊歩道等)
2	広報活動を充実する。
3	最終目標として、常時使える広場とします。

町民提言

テーマ： おいでよ!緑の無線山 ～ 魅力あるトラスト保全地活用 & 私たちにできること ～

グループ2

町民は・・

1	積極的かつ全員参加のボランティア活動を目指す。
2	伊奈町在住の人の専門性をネットワークして、トラストシンクタンクとして運営する。
3	商工会議所等と連携して、経済活動を活性化する。

伊奈町は・・

1	保全のための独自の資格制度を創設する。
2	保全基金の設立。
3	保全のコンセプトとロードマップの確立。

町民提言

テーマ：おいでよ!緑の無線山 ～ 魅力あるトラスト保全地活用 & 私たちにできること ～

グループ3

町民は・・

1	寄付金や勤労奉仕等に協力する。
2	イベントの参加、協力。
3	無線山を訪れた方々の感想と行事の企画、提案をする。

伊奈町は・・

1	より安全に、楽しい場所とするための環境整備を行う。
2	多くの人びとが楽しめるイベントの企画。
3	PR活動、町の各種団体及び町外にも発信する。

町民提言

テーマ： おいでよ!緑の無線山
～ 魅力あるトラスト保全地活用 & 私たちにできること ～

町民は、

- 無線山の良いところを積極的に広めます。
- 無線山が13号地として指定を受けたトラスト保全地についての知識を深めます。
- 無線山を積極的に活用し、維持管理活動にも参加致します。

伊奈町は、

- 無線山(トラスト13号地)について、保全に関するコンセプト・ロードマップを広く周知してもらえるように情報発信が必要です。
- 環境整備、インフラ整備及び保全のための仕組みづくりが必要です。
- 多くの人に利用してもらうために、無線山の開放、イベントの企画・開催が必要です。

【補足資料】

おいでよ!緑の無線山

～ 魅力あるトラスト保全地活用 & 私たちにできること ～

町民は・・・

1	無線山の良いところを積極的に広めます。
補足説明	ウォーキングマップの作成、個々の広報活動等、町民自身も広報活動することによって、無線山の認知度が上がるという提言です。
2	無線山が13号地として指定を受けたトラスト保全地についての知識を深めます。
補足説明	そもそも保全とはどういうものなのか、そしてそれには何が必要なのかを町民自身がしっかり知ること、そして町民自身が保全の専門家として新たなネットワークを形成し、トラストシンクタンクとした活動ができるという提言です。
3	無線山を積極的に活用し、維持管理活動にも参加致します。
補足説明	「さいたま緑のトラスト協会」で行っているイベントやボランティア活動、町を挙げての保全活動等に積極的に参加することで無線山の保全活動が活発化するという提言です。

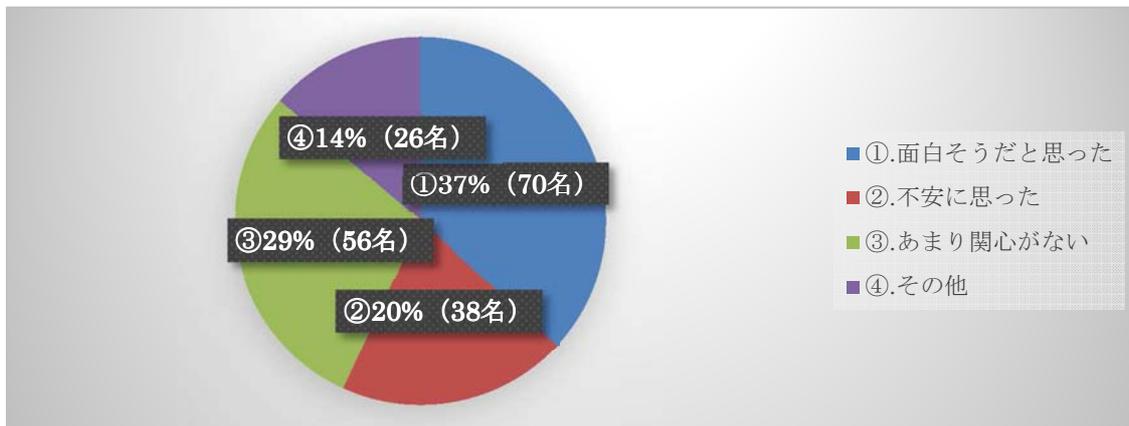
伊奈町は・・・

1	無線山(トラスト13号地)について、保全に関するコンセプト・ロードマップを広く周知してもらえるように情報発信が必要です。
補足説明	無線山(トラスト13号地)のことをもっと多くの人に知ってもらえるように、保全のコンセプトやロードマップ(将来ビジョン)を確立し、しっかりとした広報活動(HPや諸団体活動、交通機関でのPR、看板等)を行うことで、魅力ある保全活動となるということです。
2	環境整備、インフラ整備及び保全のための仕組みづくりが必要です。
補足説明	より安全に、楽しめる場所とするための環境整備が必要。トイレや照明、遊歩道などがあると気軽に訪れることができる場となります。また、保全のための独自の資格制度を創設し専門家を育成することで、町民個々のスキルを活かしたやりがいのある保全活動が可能になるということです。
3	多くの人に利用してもらうために、無線山の開放、イベントの企画・開催が必要です。
補足説明	無線山で多くの人が集えるイベントの企画(町民からのイベント企画提案の受け入れも含む)だったり、気軽に使える場所とすることが必要ということです。
備考	保全のための保全基金の設立や環境整備するための予算捻出等、資金についての提言がありました。これについては、現状「さいたま緑のトラスト協会」によるトラスト基金募金活動事業を中心として進めているものであるため、備考として掲載させていただきました。

IV アンケート結果

1.不参加者事前アンケート結果（回答者数190名）

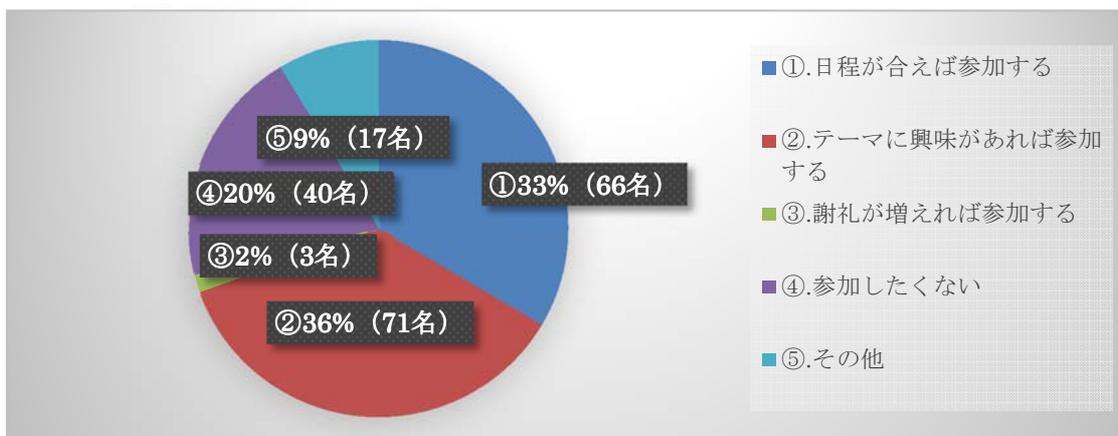
1. 伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」の参加依頼書をみたとき、どのように感じましたか？



※ その他意見

- ・主旨がわからなかった。
- ・青年会議所って何をしているところなのですか？
- ・良い企画だと思った。
- ・高齢なので、ちょっと無理だと思った。
- ・話し合えることはいいことだと思った。
- ・老人にではなく、若い人に送るべき。
- ・引っ越してきてまだそんなに経ってないので、伊奈のことを知らない。

2. 次回このような参加依頼書が届いたらどうしますか？

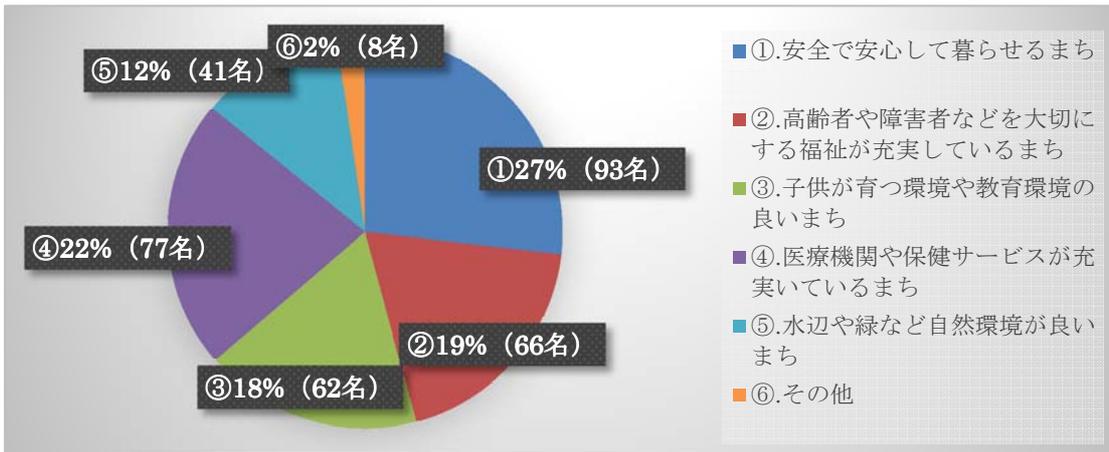


※ その他意見

- ・負担感がある。（発表したり報告書作ったりは重い）
- ・子育て中なので、時間が取れない

- ・体調不良なので・・・
- ・人前で話すのが苦手なので。
- ・耳がわるく、難しい。
- ・人数が多ければ、もっと気軽に行けたかもしれない・・・

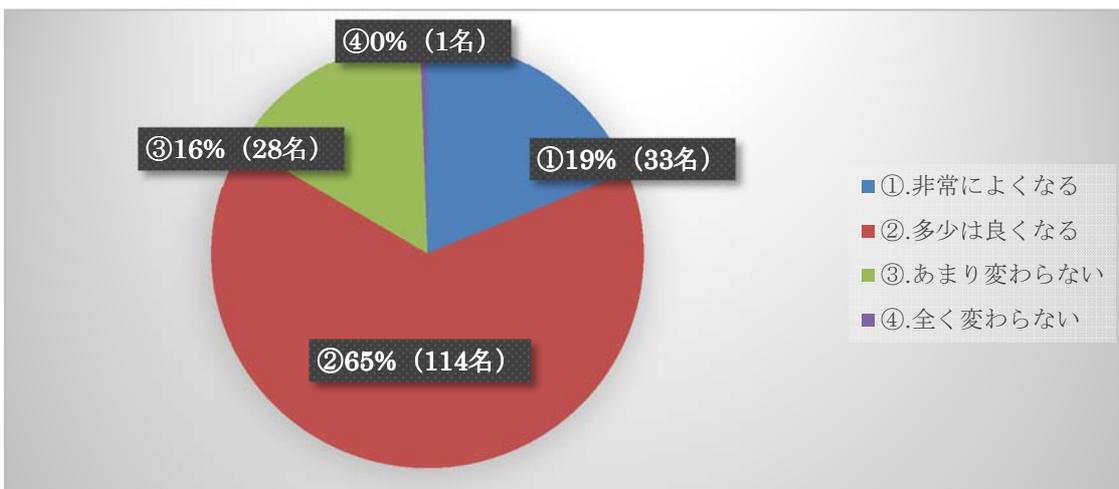
3. 10年後の伊奈町がどのようなまちになっていることを期待しますか？次の中から2つ以内で選んでください。



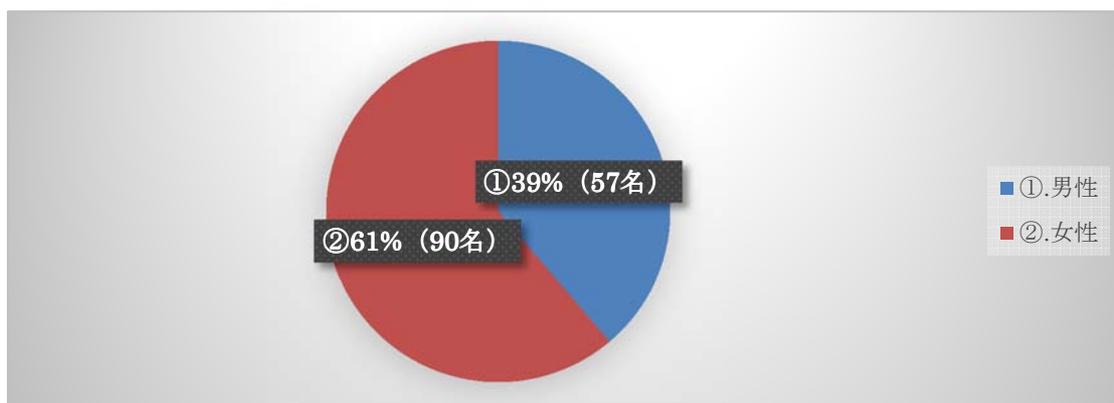
※ その他意見

- ・交通の便を良くしてほしい
- ・雇用の促進をしてほしい
- ・産業と活気のあるまちづくりを期待します。

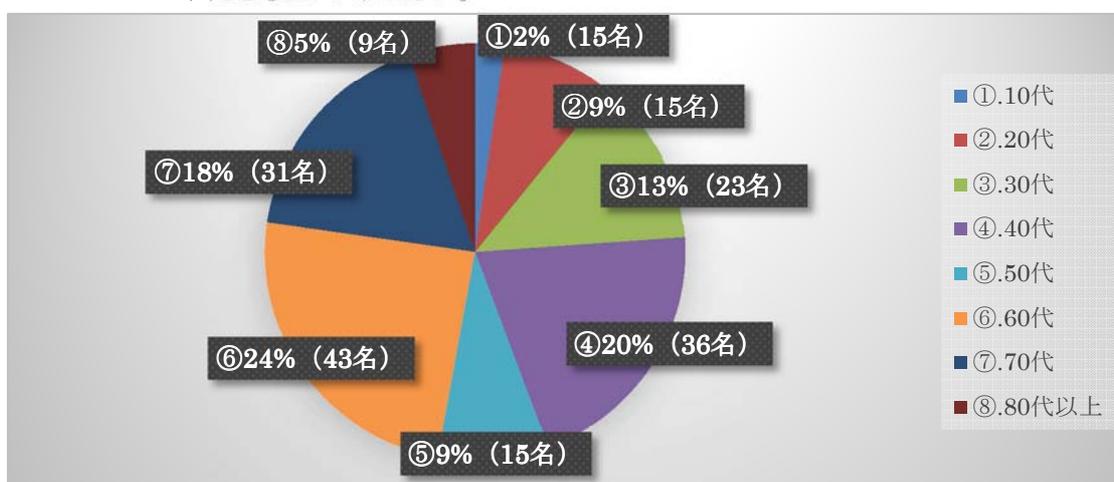
4. 町民参加で伊奈町の政策やまちづくりがより良いものになるとおもいますか？



5. あなたの性別は？



6. あなたの年代を教えてください。

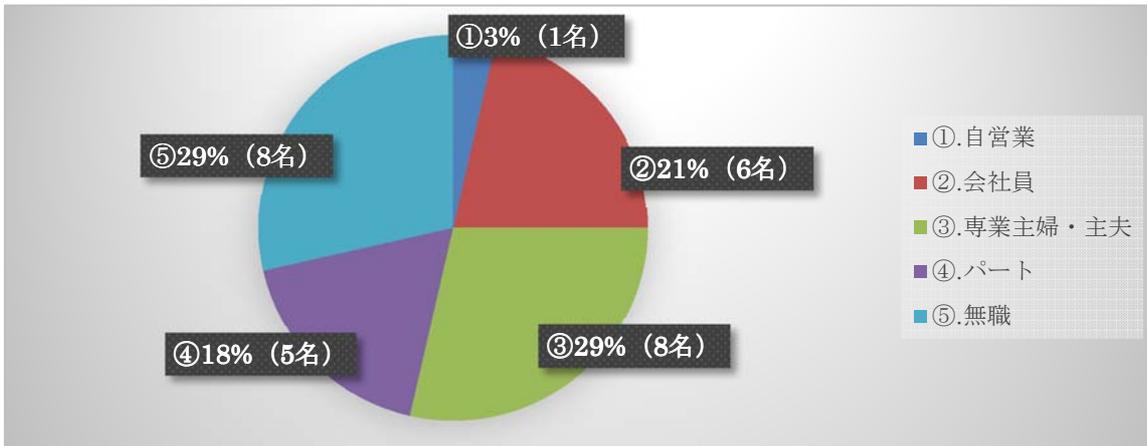


委員会考察：今年度は大変多くのアンケートの返信をいただきました。多くの町民がこのような企画に関心をもっていただいていることがわかりました。無作為抽出で突然のご案内なので、戸惑われた方も多かったと思います。今後、日程やテーマ選定等、町民の皆様が参加してみたいと思えるようなご案内を心掛けていきます。

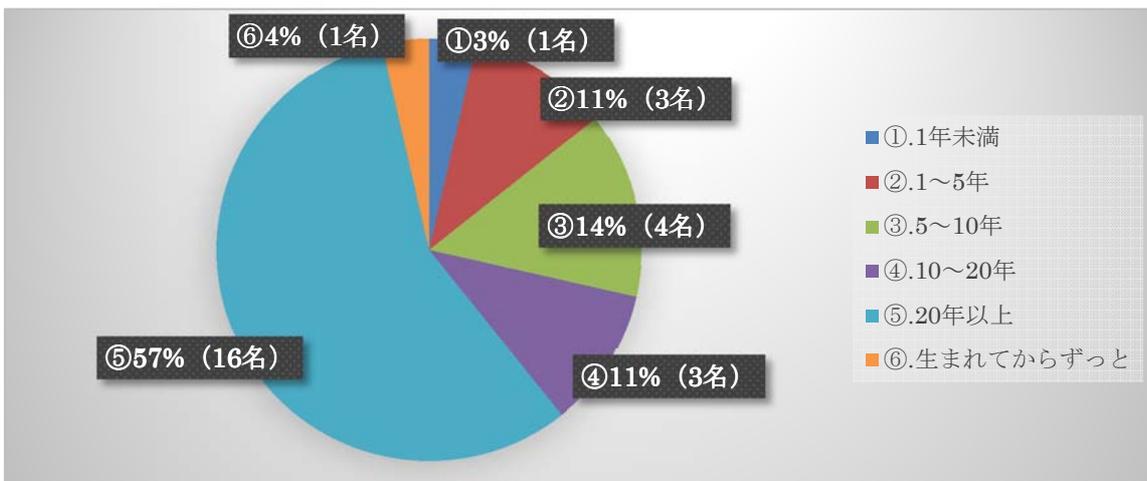
2.参加者開催前アンケート結果（回答者数28名）

1. 基本情報

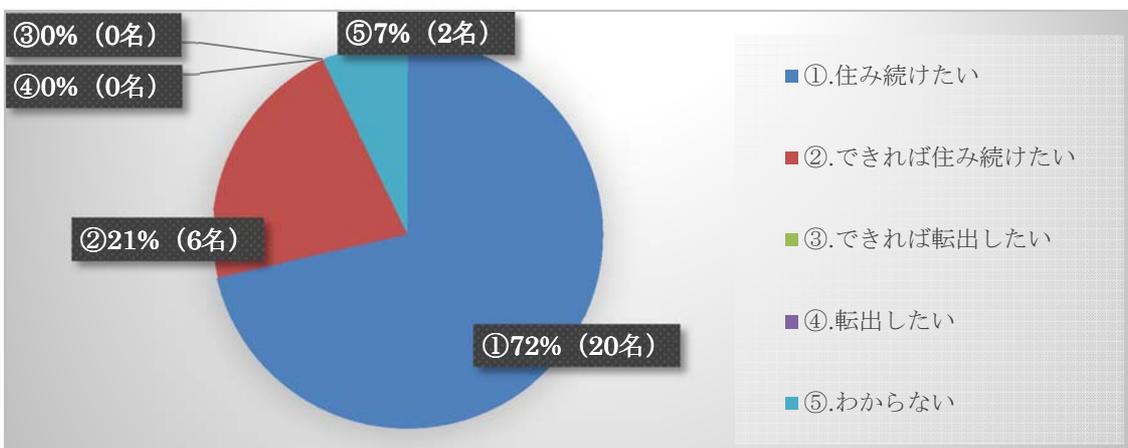
① あなたのお仕事について



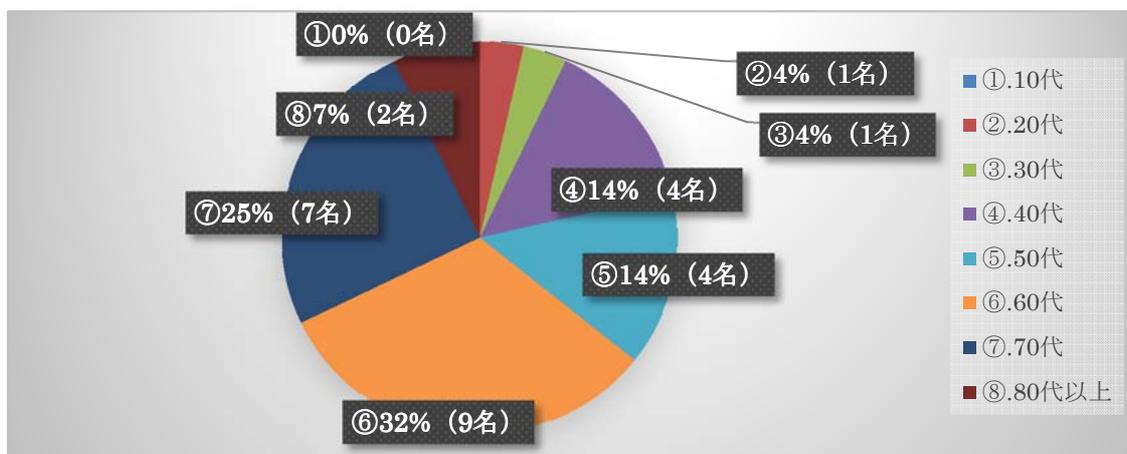
② 伊奈町にお住いになって何年ぐらい経ちますか？



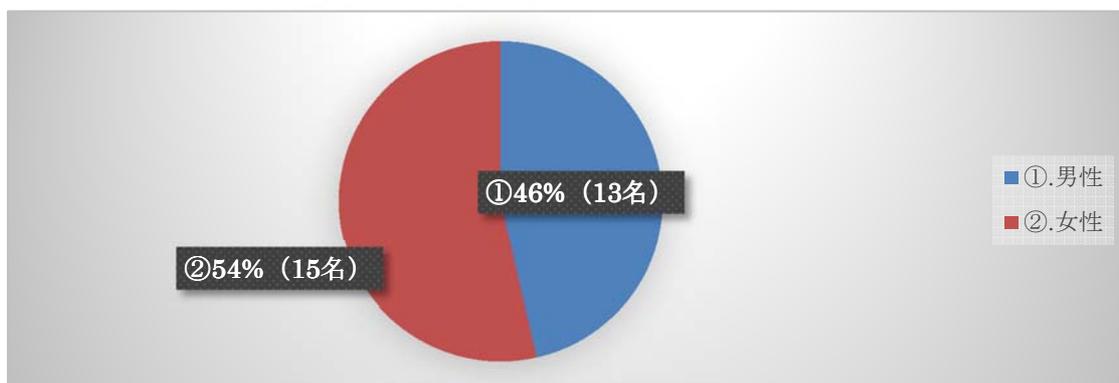
③ 伊奈町への定住意向



④ 年齢

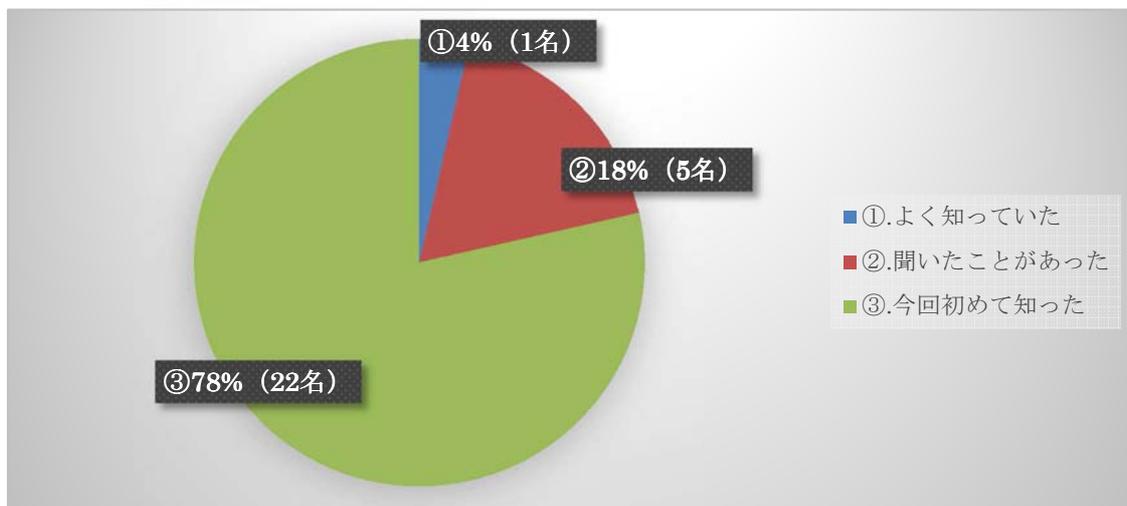


⑤ 性別

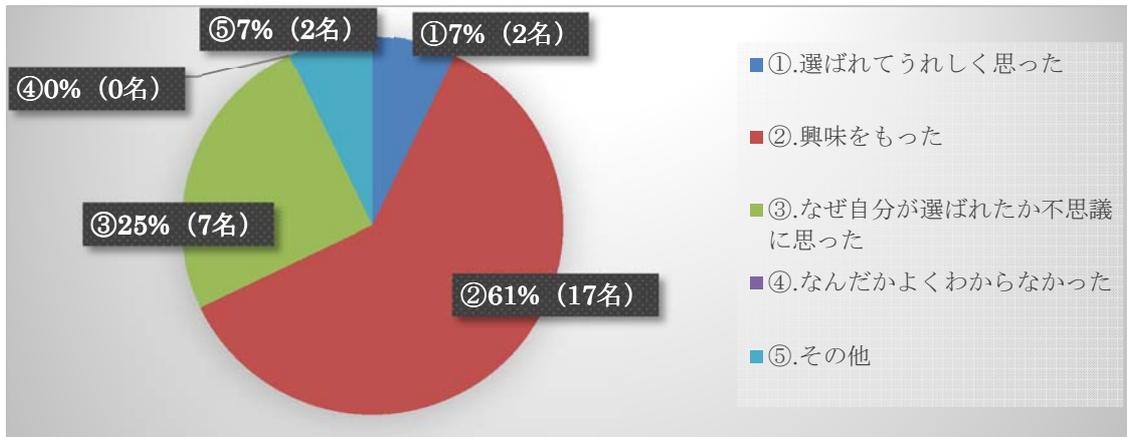


2. 町民討議会について

① 「町民討議会」という町民参加の手法について



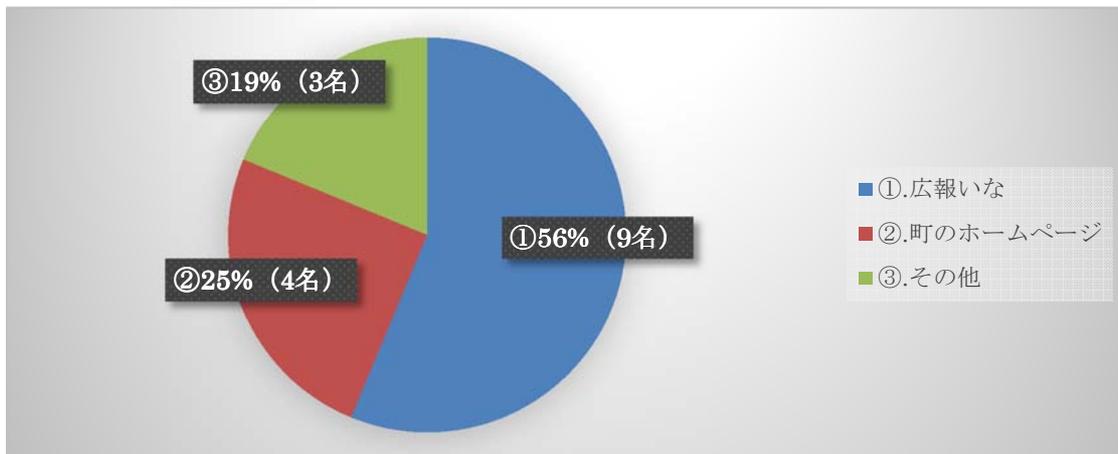
② 参加依頼書を受け取った時、どう思いましたか？



※その他意見

- ・自分で大丈夫か不安

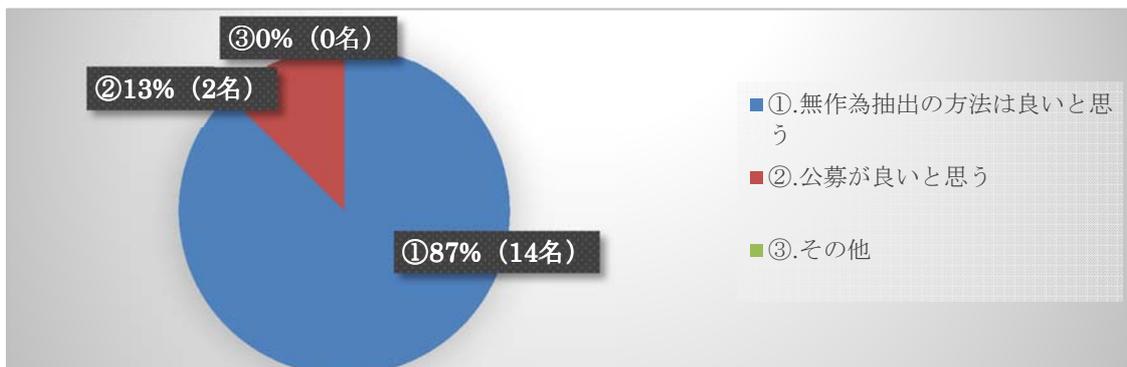
③ 「伊奈町いきいきミーティング」の内容を目にしたものについて（複数回答可）



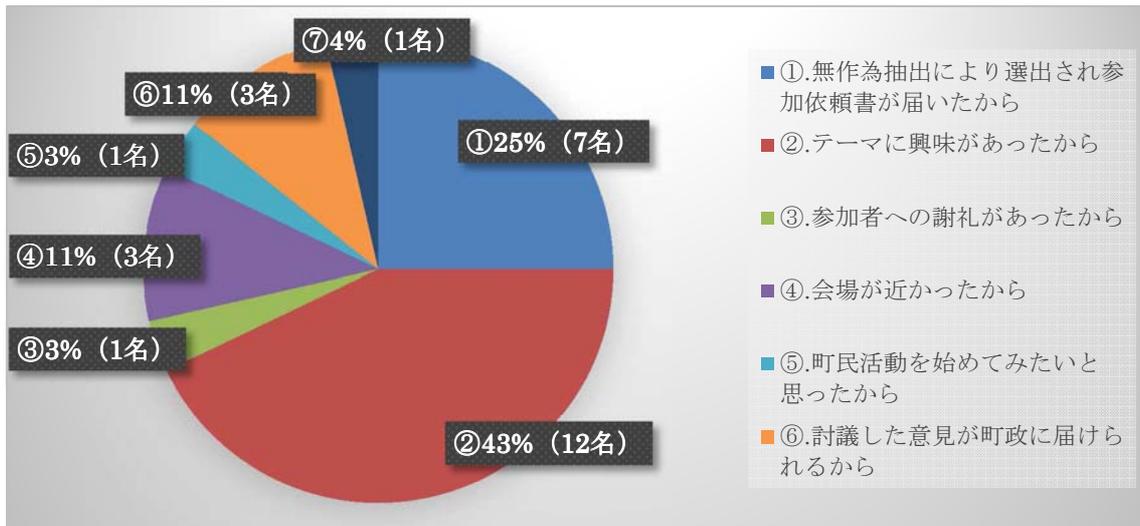
※その他意見

- ・封書で

④ 住民基本台帳から無作為抽出して参加依頼書を送付することについて



3. ご参加いただいた理由について（複数回答可）

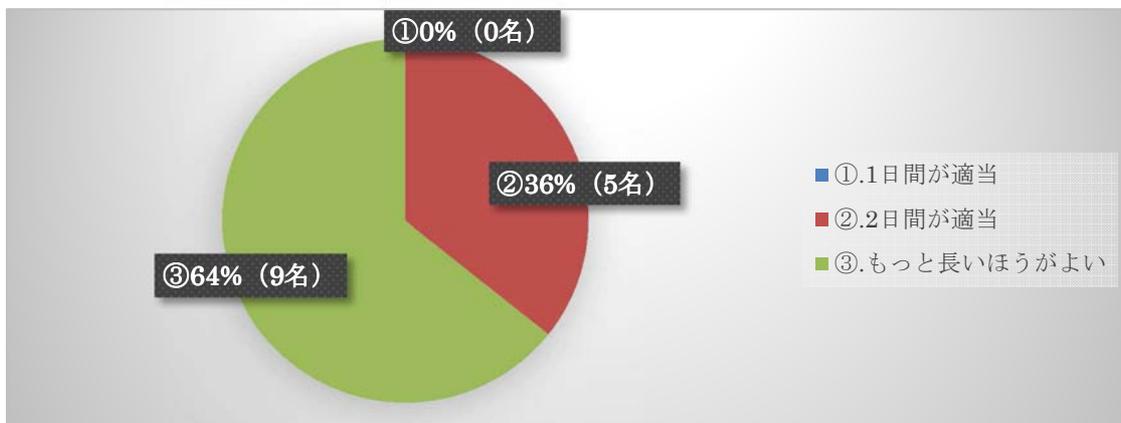


※その他意見

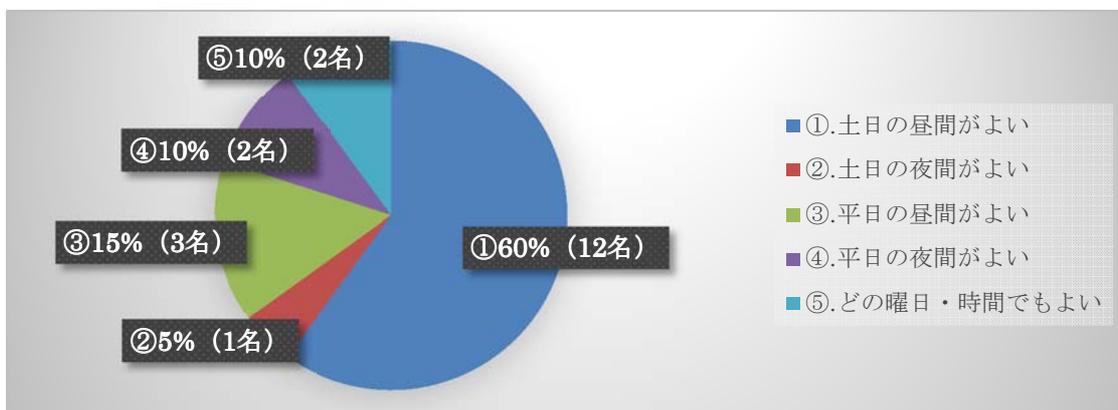
- ・反映されたかどうか気になるから

4. 「開催日数」や「開催時期」などについて

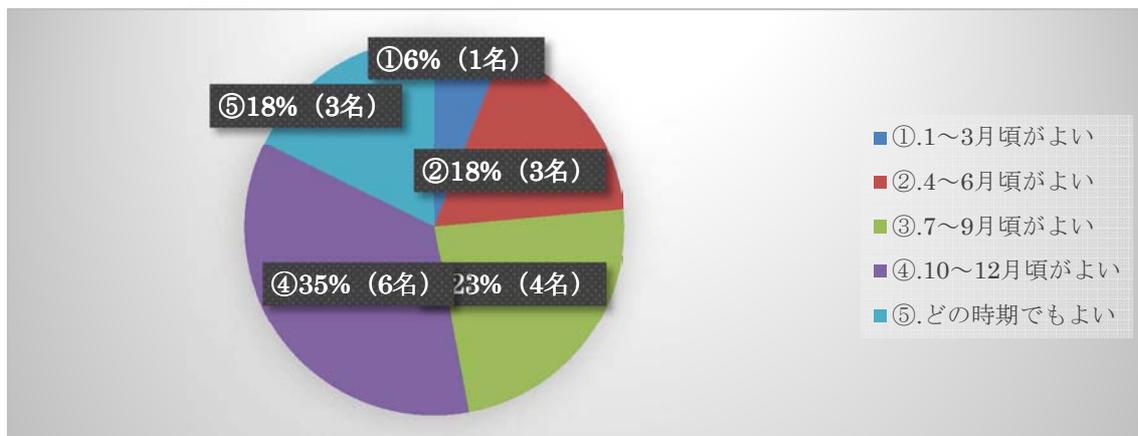
- ① 町民討議会、報告書作成会、報告会を現在3日間にわたり開催していますが、何日数が妥当だと思いますか？



- ② 開催する曜日、時間について（複数回答可）

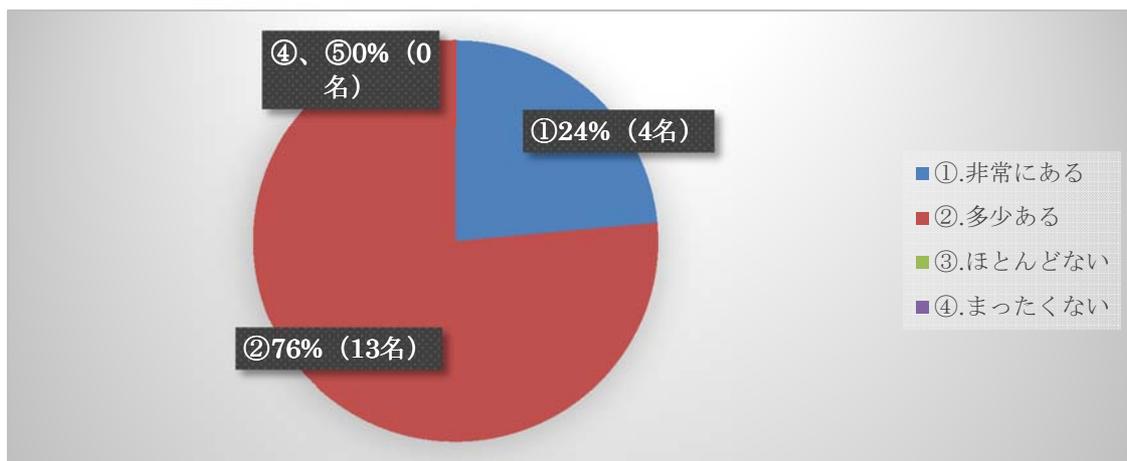


③ 開催する時期について

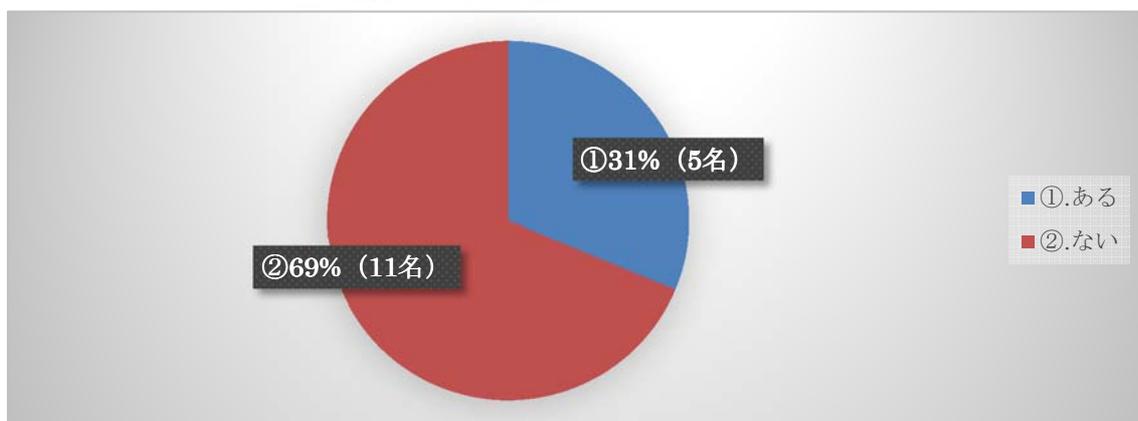


5.町民参加の状況等について

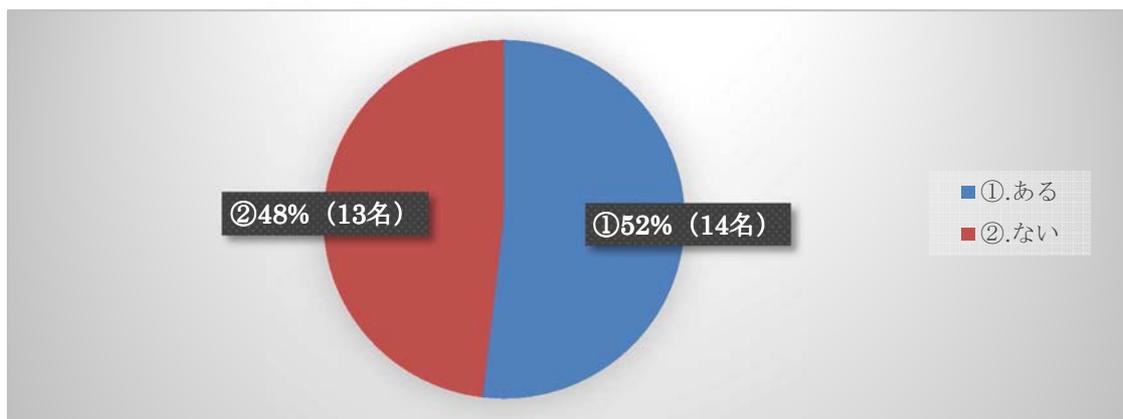
① あなた自身は、行政への町民参加に関心がありますか？



② あなたは、これまでに行政が町民を対象に実施する審議会や委員会、住民説明会、パブリックコメント、アンケート調査などに参加したことはありますか？

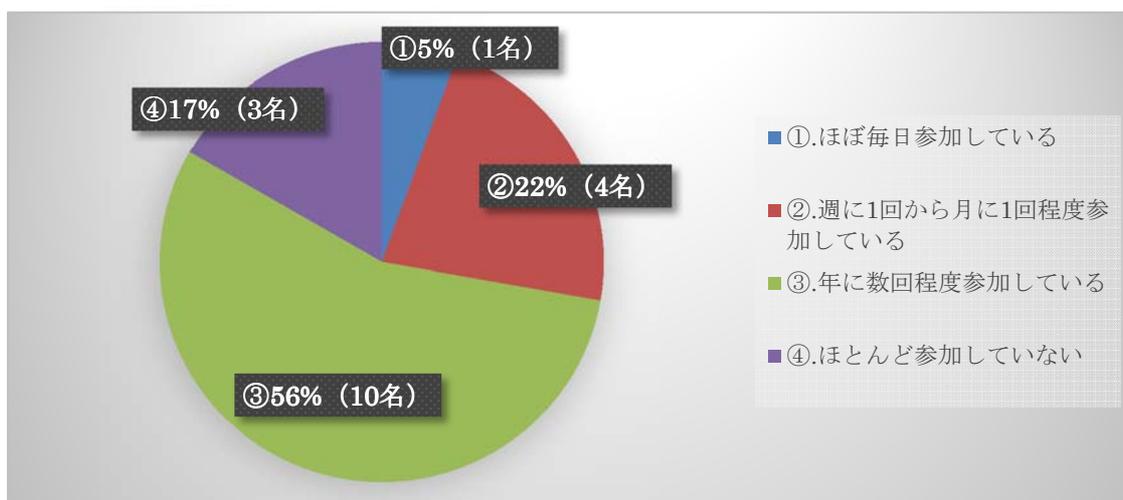


③ あなたは、今まで地域における町民活動に関わったことはありますか？



④ ③で「ある」と答えた方のみお答えください。

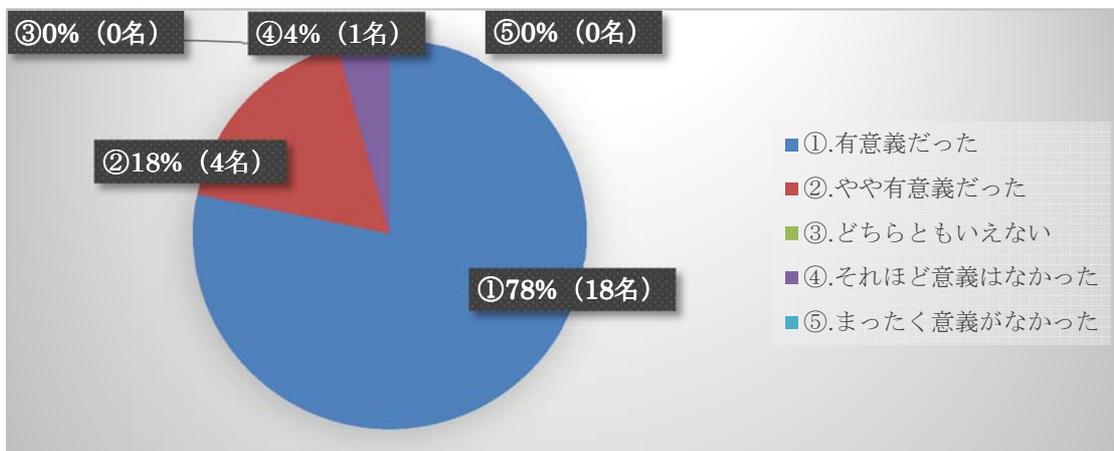
この1年間に地域の活動（自治会、地区協議会、ボランティア活動、NPOサークル等の生涯学習活動等）に参加したことはありますか？



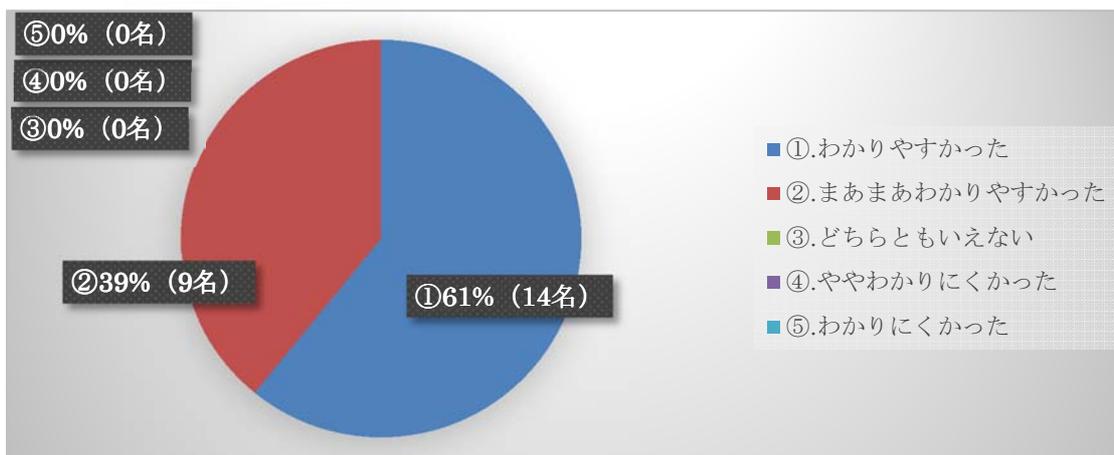
委員会考察：無作為抽出による参加依頼のため、広い世代の方々にご参加いただきました。参加された多くの方が伊奈町に関心を持ち、機会があればこのような企画に参加してみたいという考えを持っていらっしゃる事がわかりました。参加して、それがどのように反映されたのかを形にできるような企画・運営を進めていきます。

3. 参加者アンケート結果（回答者数 23名）

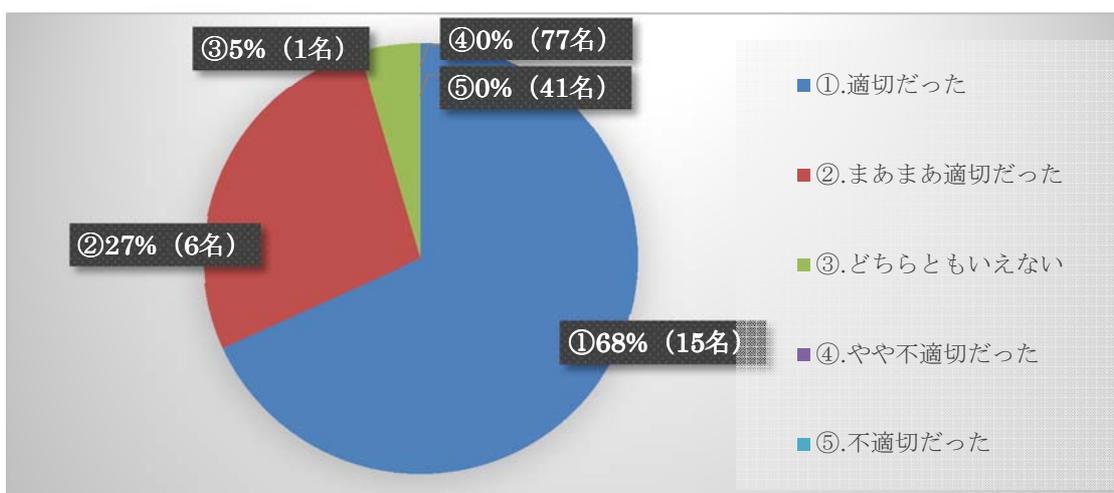
1. 討議会に参加されていかがでしたか？



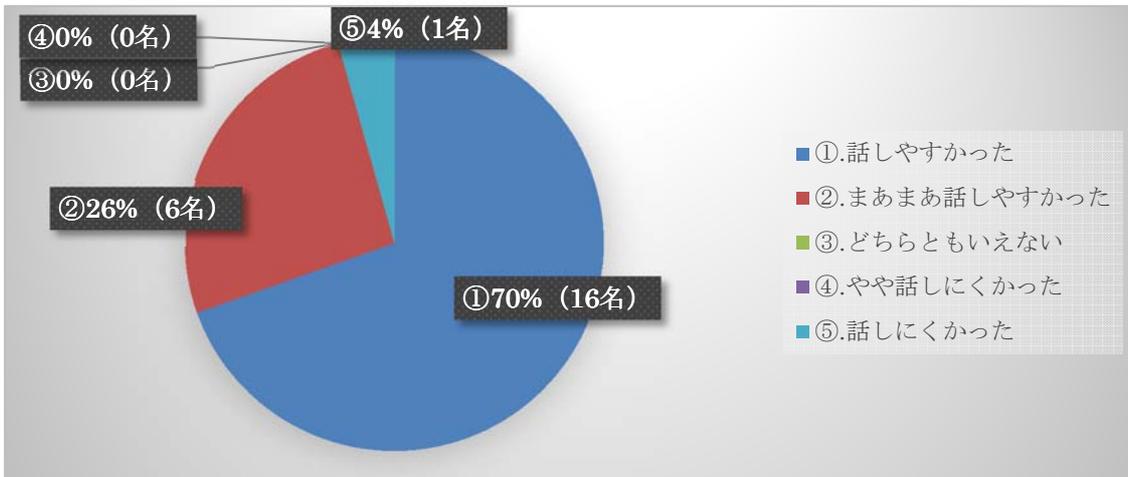
2. 討議の進め方はいかがでしたか？



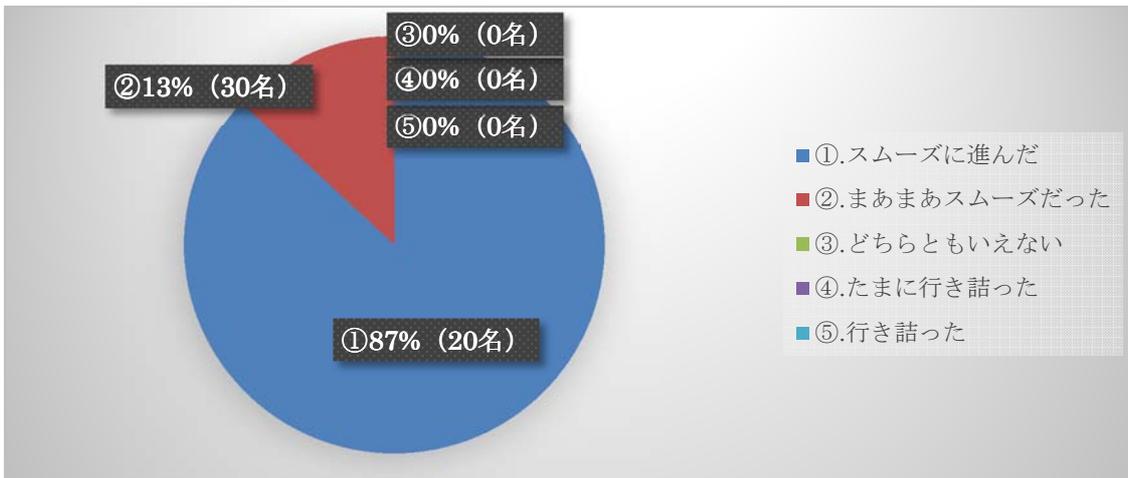
3. テーマに関する情報提供は適切でしたか？



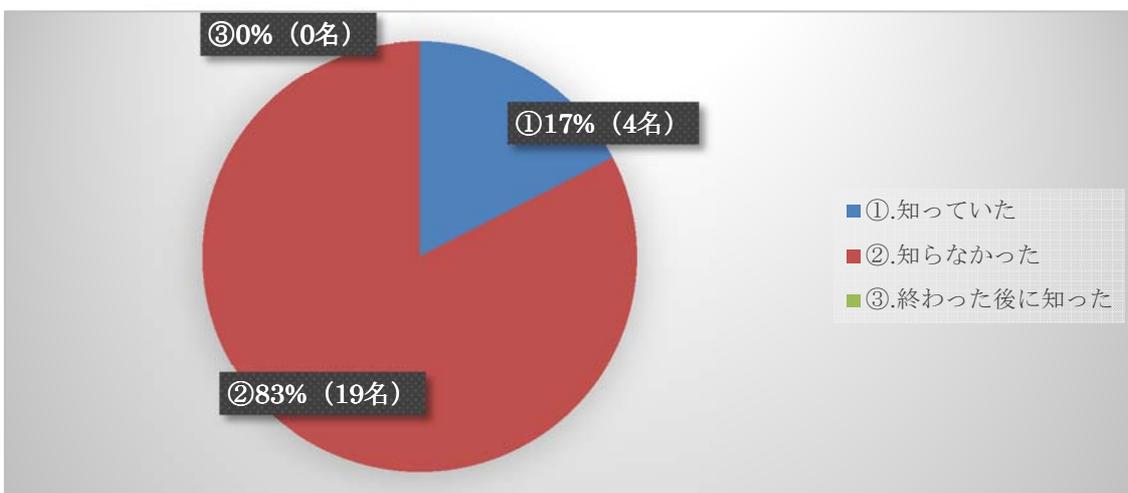
4. 討議テーマは話しやすかったですか？



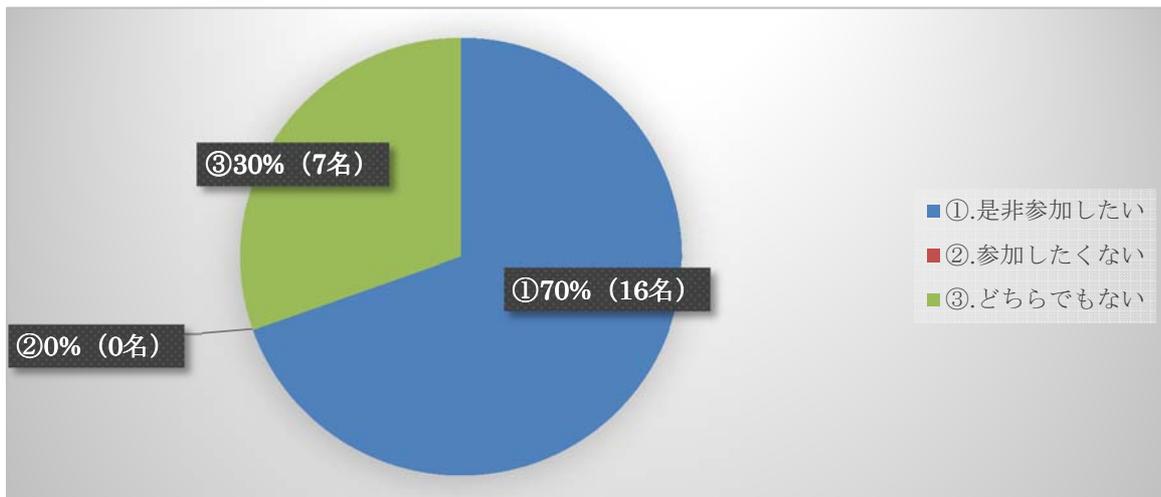
5. チームごとの話し合いはスムーズに進みましたか？



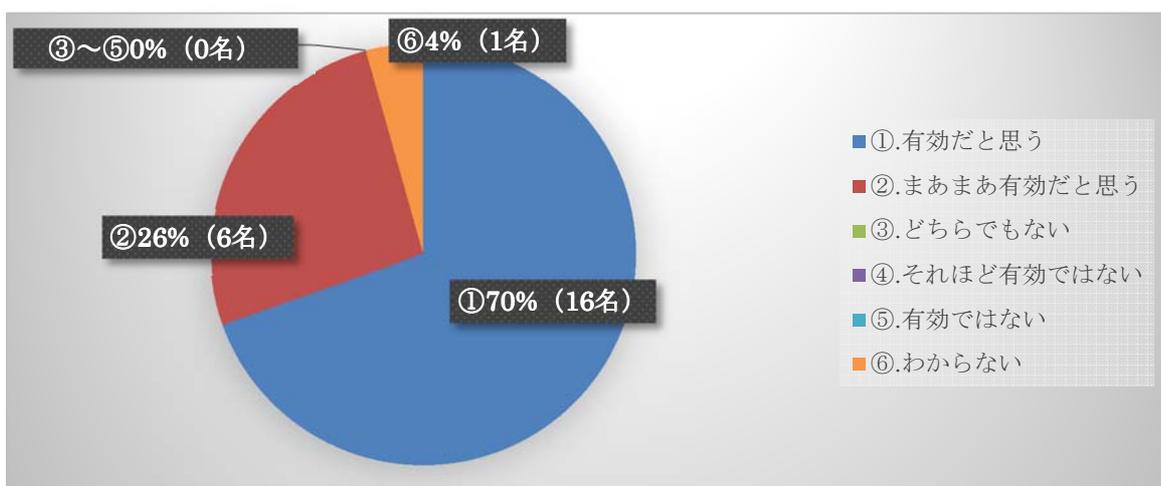
6. 2011年から町民討議会が開催されていましたが、知っていましたか？



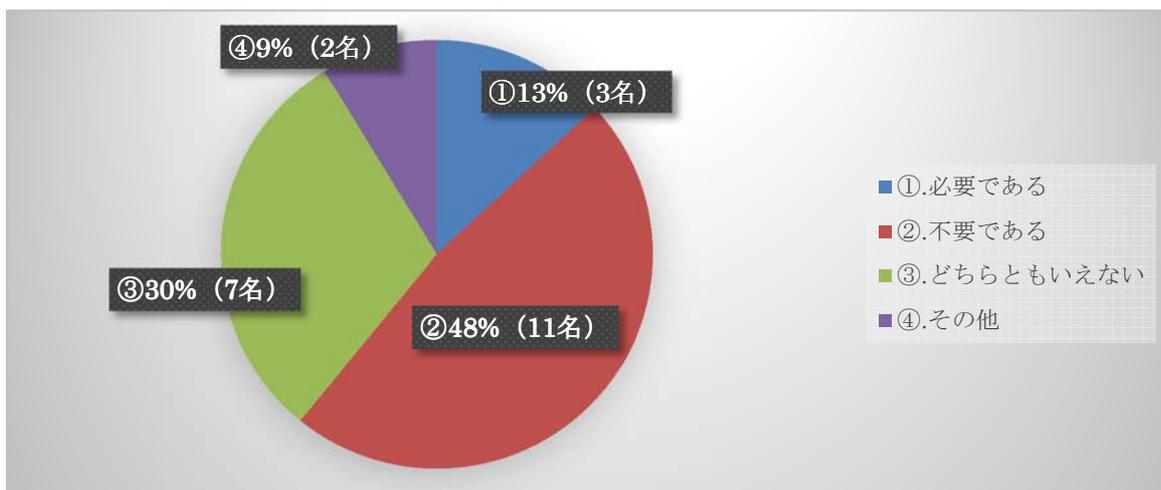
7.来年も開催されるとしたら参加したいと思いますか？



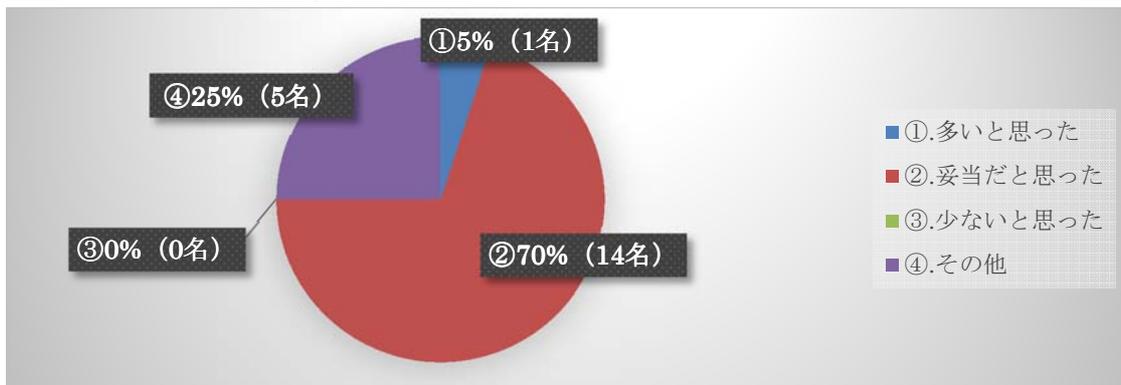
8.町民討議会は町民の声を町政に反映させるのに有効な方法であるとされていますが、実際に参加してみてどう思われましたか？



9.謝礼の有無と参加決意の関係についてどのようにお考えですか？



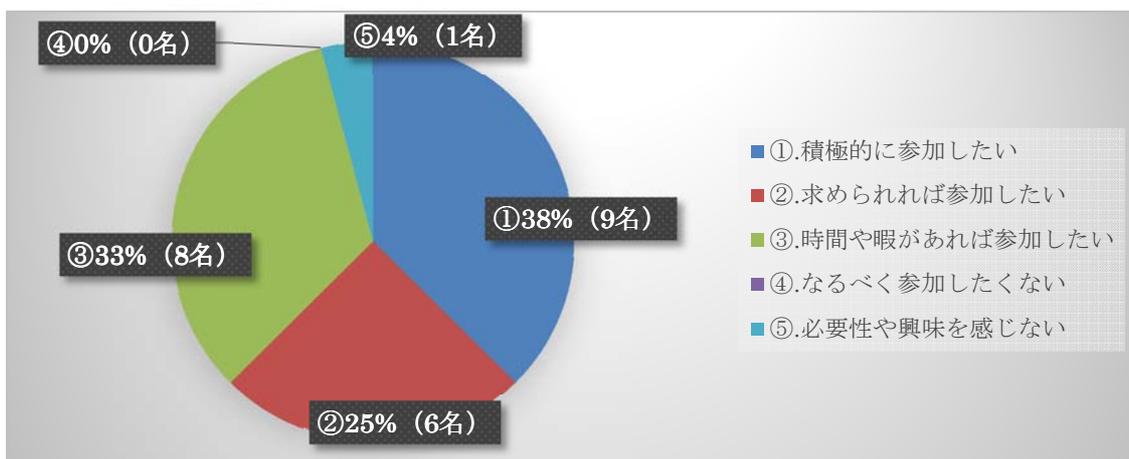
1 0. 謝礼の金額について



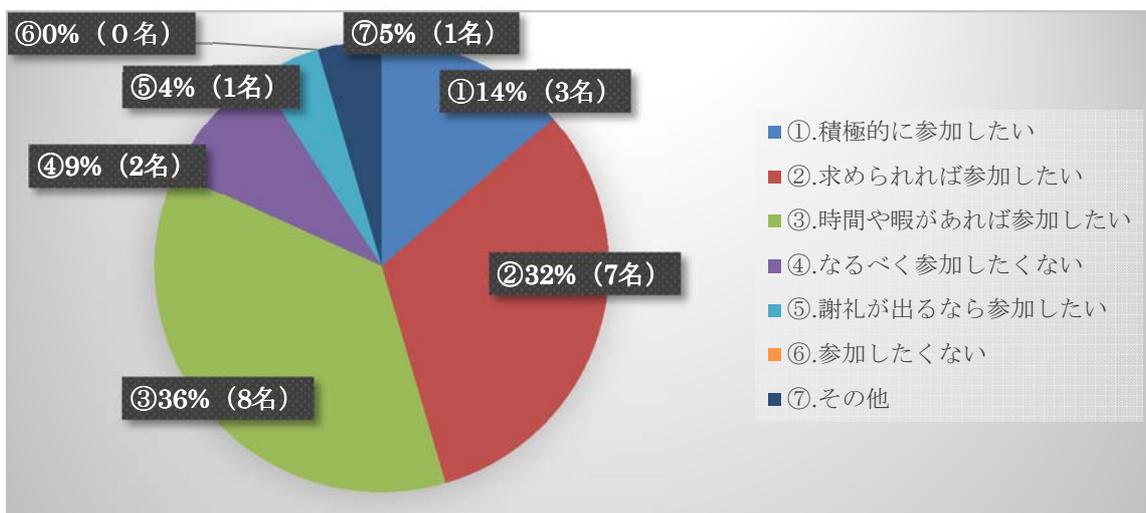
※その他意見

- ・トラスト基金にしてはどうか？
- ・学校等に寄付してはどうか？

1 1. これからの地域活動への参加についてどのようにお考えですか？



1 2. 次回同じような討議会を行った場合、今度はテーブルサポーターなどの運営側でのご参加はいただけますか？



1.3.町民討議会について、ご意見ご感想などをご記入ください。

- ・開催を役場にしていただくと中心地なので良いと思います。
- ・多様な意見を聞けたり、知らない人にお会いできたりと、とても良い時間をいただきました。
- ・グループ分けで話しやすく楽しめました。
- ・幅広い年齢層の方とお話しできて面白かったです。
- ・みなさんの活発な意見が聞けて良かったです。どんどんこれからも町政に参加したいと思います。
- ・初めて参加しましたが、既にテーマが決まっていたので、伊奈町の活性化への町民の意見の場としてほしかった。
- ・今日話し合われたことが少しでも町政に反映されたら嬉しいと思います。楽しく参加させていただきました。
- ・若者と一緒に楽しめてよかった。
- ・有効であると思うが、確認方法がわからないのでわかるようにしてほしい。
- ・初めて知ったので、伊奈広報紙等に載せてほしい。
- ・討議会を開くのはよいが、この意見がどう受け止められどんなプロセスで町として検討し、この後どんなプロセスで実現されるのかを示してほしい。
- ・今回の討議内容は難しかった。その時にあった討議内容であってほしい。(今年であれば議員の経費の使い道等)
- ・無線山のテーマは非常に良く、町民にPRを推進していきたい。
- ・町民としてこのような機会に参加させていただけたことに感謝します。テーマが町に対する意見を述べるのであればなおよかったと思います。

委員会考察：多くの方に参加して有意義な時間を過ごせた、楽しかったと言っていました。

また来年も参加したいという方も多く、討議会を経験された方には是非テーブルサポーターとしてご参加いただきたいと思います。来年はまた新たなテーマで進めさせていただきますが、伊奈町が住みよいまちとなるよう、しっかりとした企画・運営に努めてまいります。

參考資料

参考

「平成26年度伊奈町町民討議会」の実施に関する協定書

伊 奈 町

公益社団法人埼玉中央青年会議所

「平成26年度 伊奈町民討議会」の実施に関する協定書

伊奈町（以下「町」という。）と公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下「青年会議所」という。）は、普段声を発する機会の少ない町民が町制へ参加するきっかけをつくり、町民参加・町民協働によるまちづくりを推進するため、無作為抽出による町民がまちづくりの課題について討議する「平成26年度 伊奈町民討議会」（以下「町民討議会」という。）を共催するものとし、その運営等に関し、次の通り協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定書は、町民討議会の開催に伴う個人情報の取扱い並びに町と青年会議所の役割分担及び経費の負担を明確にすることを目的とする。

（共催に関する原則）

第2条 町と青年会議所は、お互いの立場を理解、尊重し、対等なパートナーとしての関係を保つように心がけるとともに、多様な町民の意見を集め、中立性、公平性及び公正性を担保しながら、町民討議会の開催に至る過程やその成果について町民に公開するものとする。

（個人情報の保護）

第3条 青年会議所は、個人情報保護のため、別紙「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

（役割分担と経費の負担）

第4条 町と青年会議所の役割と責務は次のとおりとする。

1 青年会議所の役割と責務

- (1) 町民討議会を円滑に実施するための準備委員会（担当委員会）組織を設置し、その運営に当たるものとする。
- (2) 町民討議会の開催を広く町民に周知するため、広報活動に当たるものとする。
- (3) 町民討議会の内容及びその手法等について報告書を作成し、町に提出するものとする。
- (4) 町民への参加依頼書の発送の準備、町民からの参加申込書の受付及び参加者の決定を行うものとする。
- (5) 町民討議会の開催場所を確保するものとする。
- (6) 開催に係る町職員の人件費、町民への参加依頼書の発送費用、町民の参加決定書の発送費用以外の全ての経費を負担する。

2 町の役割と責務

- (1) 開催に伴う打ち合わせに参画する。
- (2) 町民討議会の開催を広く町民に周知するため、町の広報誌やホームページ等を活用し、広報活動に努めるものとする。
- (3) 住民基本台帳から参加候補者の無作為抽出作業を行うほか、町民への参加依頼書の発送費用、町民への参加決定書の発送費用を負担するものとする。
- (4) 町民討議会の討議テーマ決定に当たっての協議及び関係する情報を提供するものとする。

(有効期限)

第5条 この協定書は町と青年会議所との合意をもって発効し、本事業が終了した時点で失効するものとする。

(協定の解除)

第6条 町、青年会議所の双方あるいは片方より協定締結後やむを得ない状況により、本事業の継続が困難あるいは不可能な状況となった場合には協議の上事業を中止あるいは延期することができ、本協定も解除できるものとする。

(その他)

第7条 本協定に定めのない事項で、町民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、町と青年会議所が協議の上決定するものとする。

この協定書の締結を証するため、本書2通を作成し、町及び青年会議所双方記名押印のうえ、各自1通を所持するものとする。

平成26年 5月 日

北足立郡伊奈町大字小室9493
伊奈町 町長 野川 和好

さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3階
公益社団法人 埼玉中央青年会議所
理事長 星野 真一

埼中JC発14-0726号

各位

2014年7月吉日

伊奈町長 野川 和好

公益社団法人埼玉中央青年会議所
第19代理事長 星野 真一

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」

参加のお願い

拝啓 残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町では、「平成26年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書』の締結により、『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』を下記の通り開催することとなりました。

この町民討議会への参加者として、伊奈町が住民基本台帳から16歳以上の伊奈町民男女計1,500人を無作為に選出させていただきました。

つきましては、別添『伊奈町いきいきミーティング開催趣旨』をご覧ください、町民討議会の趣旨を御理解の上、御参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2014年9月6日（日）
 13:30～16:30（13:00受付開始）
2. 場 所 伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる） 2階 会議室1・2
 住所：伊奈町大字小室2450-1 会場電話：048-724-0717
3. テーマ 討議テーマ
 「おいでよ緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちができること～
4. 参加定員数 30人
5. 謝 礼 伊奈町共通お買い物券3,000円分

6. 参加申し込み方法（アンケートの返信方法）

（1）電話（2）FAXまたはメール（3）郵送のいずれかの方法で、下記の申し込み先までお申し込みください。お申し込みの際には、必要事項（住所、氏名、性別、年齢、電話番号）をお知らせください。

7. 申し込み締め切り

8月 3日（日）

8. 参加者の決定について

応募者が30人を超えた場合は、抽選により決定します。参加決定者にはすみやかに参加決定通知書を送付いたします。

9. 御参加いただける方

この依頼書が宛てられたご本人のみとなります。（他の御家族の参加はできません）

10. 主催団体について

本討議会は、公益社団法人埼玉中央青年会議所が主催し、共催は伊奈町、協力は伊奈町商工会青年部にさせていただいて運営いたします。

11. 個人情報の取り扱いについて

参加申し込みの際にいただいた個人情報のうち、氏名、性別、年代、お住まいの地域については、申し込みを行った時点で、伊奈町個人情報保護条例に基づき、申込者本人の同意をいただいたものとし、町民討議会に関する事務の目的に限り使用いたします。

12. 記録について

当日は討議会、報告書作成時に使用する会場内の写真撮影、ビデオ記録を行います。また、撮影された写真に関しては報告書内で使用させていただくこともございますのであらかじめご了承ください。

13. 日程

- ①町民討議会 : 2014年09月06日(土) 12:30~17:30
②報告書作成会 : 2014年10月04日(土) 13:30~16:30
③報告会 : 2014年10月26日(日) 14:00~16:30

会場:

- 町民討議会 : 伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる) 2階 会議室1・2
報告書作成会 : 伊奈町役場3階 第1会議室
報告会 : 日本薬科大学 セミナー室

※①の町民討議会にご参加できない方でも③の報告会には参加できます。

※①の町民討議会にご参加いただいた方のみ謝礼を進呈します。

※交通費の支給はいたしません。尚、埼玉県民活動センターにつきましては、会場の駐車場は最初の1時間は無料です。最大400円程度御負担いただくことがあります。

14. 申し込み、お問い合わせ、アンケート返信先

公益社団法人埼玉中央青年会議所 地域創造委員会 委員長 河野淳行

〒330-0845

さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3F

電話: 048-647-3315

FAX: 048-647-3316

メール: inatougikai@yahoo.co.jp

以上

伊奈町いきいきミーティング

～伊奈町民討議会～



開催趣旨

町民討議会とは、住民基本台帳から無作為抽出によって選ばれた町民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす（行政に提言する）住民参加手法のひとつであり、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち（サイレントマジョリティ）の意見を吸い上げることもできます。

そこで普段声を発する機会の少ない町民が町政へ参加するきっかけづくり、町民参加・町民協働によるまちづくりを推進するため、公益社団法人埼玉中央青年会議所は、伊奈町民討議会を開催することといたしました。皆様の貴重な意見を伊奈町のまちづくりに活かすチャンスです。

テーマ：「おいでよ！ 緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちが出来ること～

町民討議会の特徴

- 参加者の無作為抽出
住民基本台帳を使用し、16歳以上の男女を無作為で1,500名抽出します。
- 有償での参加
討議会には仕事として取り組んでいただくために謝礼として伊奈町共通お買い物券3,000円分を進呈します。
※お買物券は、公益社団法人埼玉中央青年会議所の事業費より、まかなわれております。

開催後の結果公表

- 報告会の実施
取りまとめを行い報告会を実施します。
- 町役場へ提出
町民からの声として伊奈町に提出します。
- 伊奈町と公益社団法人埼玉中央青年会議所のホームページに掲載
報告書はPDFファイルにてホームページにアップされます。

方法

- ① 無作為抽出で16歳以上の伊奈町民男女1,500人を抽出し参加者を募集。
- ② 話し合いの参考となる情報提供を受ける。専門知識がなくても安心して参加できます。
- ③ 当日5～6人のグループに分ける。グループごとに討議・まとめ・合意形成を経て結論まで導く

町民の皆様こんにちは。
公益社団法人埼玉中央青年会議所主催のこの事業は、伊奈町で4回目の開催となります。今年のテーマは「おいでよ！ 緑の無線山」です。
伊奈町の魅力ある自然を残し、活用していくために、町民としてどんなことが出来るのかを話し合ってください。
町民の方々の取組に大いに期待しておりますので、是非ご参加ください。



伊奈町長
野川 和好

開催日程

町民討議会

日時：平成26年9月6日(土)
13時30分～17時(13時受付開始)
場所：伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる)
小室2450番地1

報告書作成会

日時：平成26年10月4日(土)
14時～16時(13時30分受付開始)
場所：伊奈町役場 会議室
小室9493

報告会

日時：平成26年10月26日(日)
14時～16時30分(13時30分受付開始)
場所：日本薬科大学 セミナー室
小室10281

このチラシを受け取ったあなた、ぜひご参加ください。

※同封の申込書にてお申し込みください。報告会のみ参加も可能です。

主催 JCI 公益社団法人埼玉中央青年会議所 共催 伊奈町 協力 伊奈町商工会青年部
<http://www.jc766.com>

様

伊奈町長 野川 和好

公益社団法人埼玉中央青年会議所

第 1 9 代理事長 星野 真一

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」 参加決定通知書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』にお申し込みいただき誠にありがとうございました。

つきましては首記の町民討議会へのご参加いただくことが決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

当日のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1. 日時** 平成 2 6 年 9 月 6 日 (土) 1 3 : 0 0 受付開始
1 3 : 3 0 開会 1 7 : 0 0 閉会予定

- 2. 会場** 町民討議会
会場 伊奈町ふれあい活動センター (ゆめくる)
伊奈町大字小室 2 4 5 0 番地 1
報告書作成会
会場 伊奈町役場 3 階 第 1 会議室
伊奈町大字小室 9 4 9 3
報告会
会場 日本薬科大学 セミナー室
伊奈町小室 1 0 2 8 1

(※各会場案内図は裏面をご参照ください。)

- 3. プログラム** 別添『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」参加討議者ガイドブック』の通り。
※当日の討議を円滑に進めるため、必ず事前にお読みください。
※当日もこの参加討議者ガイドブックをご持参ください。

- 4. 謝礼** 1 0 月 2 6 日 (日) の報告会の最後にご報告書と一緒に渡させていただきます。
受取確認のためご捺印いただきますので、当日は印鑑をお持ち下さい。(三文判で可) また報告会に参加できない方には後日郵送にてご送付させていただきます。(送料は別途となります。)

5. お問い合わせ 公益社団法人埼玉中央青年会議所 地域創造委員会 委員長 河野淳行
 電話：048-647-3315 FAX：048-647-3316

6. 当日の緊急連絡先

事業責任者 河野 淳行 090-6929-6801
 地域創造委員会 副委員長 石丸 主憲 090-1414-4097

7. 会場案内

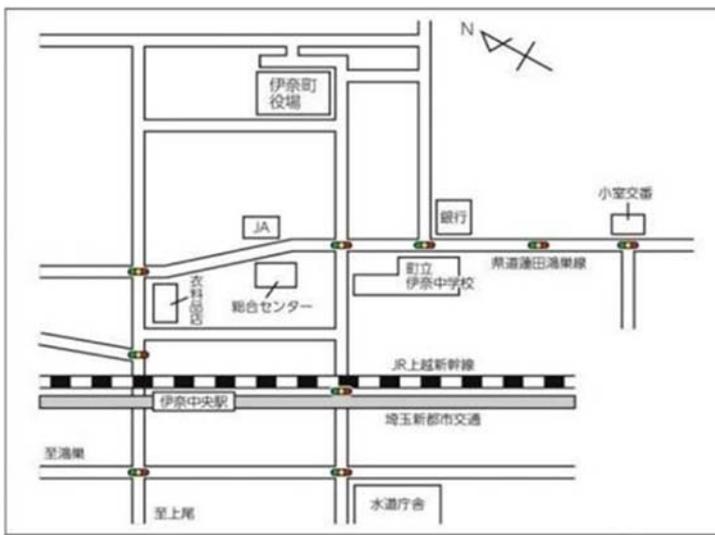
伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる）



住所：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室2450番地1

・JR宇都宮線蓮田駅下車 徒歩20分

伊奈町役場案内図



住所：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9493

・埼玉新都市交通伊奈線「ニューシャトル」伊奈中央駅下車 徒歩10分

・JR上尾駅東口から朝日バス「伊奈役場行」に乗車、終点伊奈役場下車

・JR蓮田駅西口からけんちゃんバス「上尾駅東口行（日本薬科大学経由）」に乗車、伊奈交番前下車 徒歩10分

日本薬科大学



住所：埼玉県北足立郡伊奈町小室10281

- ・大宮駅から埼玉新都市交通ニューシャトルで、志久駅まで約18分、志久駅から徒歩約5分。
- ・JR蓮田駅西口からけんちゃんバス「上尾駅東口行（日本薬科大学経由）」に乗車、日本薬科大学まで約15分

A photograph of a bright blue sky filled with fluffy white clouds. The top and bottom edges of the image show the dark green leaves and branches of trees, framing the sky. The overall tone is bright and airy.

伊奈町いきいきミーティング 参加者ガイド

I . 町民討議会開催にあたって

「伊奈町民討議会」は、本年5月に伊奈町と公益社団法人埼玉中央青年会議所がパートナーシップ協定を結び、第4回の開催に向けて準備を進めて参りました。

これまで討議会で話し合っていたテーマや、運営方法などについて議論を重ね、こうして町民の皆様をお迎えしての町民討議会開催となりました。

皆様を募集するにあたっては、伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、年齢構成比や男女比など、伊奈町の人口構成を基準に1,500人を無作為に選出させていただき、参加依頼書を発送しました。その結果、多くの方々から参加のお申込みをいただき、抽選の結果、30の方々にご参加いただくこととなりました。

「個」と「公」の協和が叫ばれる今だからこそ、行政に頼ってばかりのまちづくりではなく、町民各々が自覚と責任を持ってまちづくりに参加し、そして協働により、まちづくりを進めていくことは大変重要なことと考えます。その意味で、この「伊奈町民討議会」で皆様が意見を交わすことは、伊奈町に前向きな変化をもたらすこととなるでしょう。

参加に際して町民の皆様の時間を割いて参加していただくことから、機会原価の損失分の補填という観点で、またまちづくりに対して仕事として取り組んでいただくために謝礼をご用意しました。今回は3,000円分の伊奈町共通お買い物券となっております。この手当は公益社団法人埼玉中央青年会議所の会費からまかなわれております。

討議会とは言っても、世間話のように和やかな雰囲気でお話いただければ結構です。気負わず、当日を楽しむ気持ちでご参加ください。

この「伊奈町民討議会」が、皆様にとってまちづくりへ参加する大きな第一歩となることを、委員会一同心より祈念申し上げます。



Ⅱ. 開催概要

1. テーマ 「おいでよ！緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちが出来ること～
2. 日時 平成26年9月6日(土)13時30分開会(受付開始13時00分)
3. 場所 伊奈町ふれあい活動センター(ゆめくる)2階 会議室1・2
4. 当日のタイムスケジュール

時間	内容	
13:30	開会	
13:31	主催者挨拶	
13:35	伊奈町長挨拶(代理:企画課長)	
13:40	事業説明(趣旨・進め方など)	
13:45	～本討議～自己紹介・役割分担【10分】	
13:55	～本討議～情報提供【10分】	
14:05	～本討議～情報提供【10分】	
14:15	～本討議～討議【55分】	
16:10	～本討議～まとめ【10分】	
16:20	～本討議～発表・投票【30分】	
16:50	アンケート・事務連絡	
17:00	閉会	

Ⅱ. 開催概要

5. 持ち物

- (1)参加決定のお知らせ（本人確認のため）
- (2)参加者ガイドブック
- (3)事前アンケート（記入してお持ちください）
- (4)筆記用具

6. 会場での飲食について

皆様が気軽に話し合いができるよう、所定の場所に飲み物コーナーを設けます。ペットボトルと紙コップを用意しますので、ご自由にお飲みください。紙コップは原則1人1個をご使用願います。

7. 謝礼の受け渡しについて

謝礼は報告会（10月26日）終了時にお渡しいたします。また、当日参加できない方は、報告書と一緒に郵送させていただきます。

（レターパック500にて）その際はレターパック代として510円を差し引かせていただきます。

（お買い物券2,000円分と490円分の切手） ※当日は受け取りの印鑑をお持ちください。



Ⅱ. 開催概要

8. 報告書作成会について

伊奈町民討議会で討議された内容については、報告書を町長へ提出する前に報告書作成会を開催し、皆様に討議結果をまとめさせていただきます。是非ともご参加いただき、報告書についてご意見をお願いします。

日時 平成26年10月4日(土) 14:00から

場所 伊奈町役場3階 第1会議室

9. 報告会について

報告書作成界にてまとめた内容を製本し、皆様にご確認いただきます。ここで承認されたものを伊奈町に提出させていただきます。

日時 平成26年10月26日(日) 14:00から

場所 日本薬科大学 セミナー室



Ⅱ．開催概要

10．報告書の提出と取り扱いについて

報告会でご承認いただいた報告書は後日提出させていただきます。

報告書の完成、提出は、11月上旬を予定しており、報告会にご参加いただけなかった方には、この時期のお届けとなります。

また、伊奈町のホームページ、青年会議所ホームページに掲載され広く公開されます。

伊奈町役場ホームページ

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>

公益社団法人埼玉中央青年会議所ホームページ

<http://www.jc766.com/>

11．参加決定後のキャンセル等

諸事情により参加できなくなってしまった場合は、事前に連絡をお願いします。



Ⅱ. 開催概要

12. 今後の連絡先

開催日当日以外の連絡はこちらへお願いします。

公益社団法人 埼玉中央青年会議所

伊奈町民討議会担当委員会(地域創造委員会)

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3F

TEL 048-647-3315 FAX 048-647-3316

13. 開催日当日の連絡先

当日諸事情により遅れる場合、または、急に参加できなくなってしまった場合など、開催日当日の連絡はこちらへお願いします。

伊奈町民討議会担当委員会 地域創造委員会

副委員長 石丸 主憲 携帯電話 090-1414-4097

副委員長 根岸 昌也 携帯電話 090-3687-7597

それでは9月6日(土) (13:00受付開始)

伊奈町ふれあい活動センターにてお待ちしております。

公益社団法人 埼玉中央青年会議所 地域創造委員会メンバー一同



V. 討議会の進め方

参考テーマ
伊奈町花火大会を盛り上げよう



V. 討議会の進め方

①グループ

討議会の時間配分は情報提供(10分)・討議(50分)・まとめ(30分)・発表、投票(40分)の計130分が標準です。

参加者は5~6人を1グループとし、5~6グループ計30人とします。

討議テーマが複数の場合にはグループのメンバーをテーマごとにシャッフルし、同じメンバーの組み合わせにならないようにする。

これは、テーブル内の強弱をなくし、すべての人が意見をできるようにします。

進行役のテーブルサポーターが各テーブルに付くが、アドバイス程度で議論自体の方向性には予断を与えない。(タイムキーパーを置くときもある)

②情報提供

討論に入る前に行政担当者や有識者など専門家が情報提供者として、テーマに関する基礎知識や現在の取り組みなどを参加者にご説明します。

③自己紹介と役割分担

まずはじめに自己紹介をしてください。このときに配られた名札に自分のニックネームを書きましょう。

書記係と発表係の2役を決めます。



V. 討議会の進め方

④討議1 意見の収集

参加者は各自、附せんをつかって意見を出し合います。

書いた附せんはどんどん討議ボードに貼っていきます。

この作業はなるべく無言で行います。(話すと手が止まってしまう、多くの意見が集められません。)

アイデアは、実現可能かどうか関係なくどんどん出してください。

田んぼを使う

他市との協働

セスナを飛ばす

昼のイベント

ゴミ拾い

予算が多いと盛上る

お笑い芸人

打上の演出

有料席の工夫

大玉の復活

安全ルートの確保

ゆかた祭り

交通渋滞の解消

花火大会を中止

セレブ席

討議2 意見の分類(グループピング)

集まった意見を整理していきます。
このときに附せんの意見を書いた人に説明してもらったり、グループピングを手伝ってもらったりしましょう。

グループピングが終わるとまとめの作業に入ります。最終的に3つほどの意見に集約します。

相手のアイデアを批判しないでください。
自分の意見は手短かに述べてください。
参加者全員が発言できるよう配慮してください。
他の人の意見をさえぎらないで最後まで聞いてください。
他の人の意見を聞いて、自分の意見を変えても大丈夫です。

グループ

氏名：

テーマ 伊奈町花火大会をより盛り上げよう

イベント

たんぼを使う

昼のイベント

打上の演出

お笑い芸人

セスナを飛ばす

伊奈氏を絡ませる

ゆかた祭り

大玉の復活

資金面

予算の拡大

有料席の工夫

他市との協働

セレブ席

予算が多いと盛上る

交通

交通渋滞の解消

安全ルート確保

その他

ゴミ拾い

花火大会を中止

意見のまとめ 発表用紙の記入

まとめ1 イベントを多く増やして、田んぼを利用することで多くの人が花火を楽しめるようにすることで、他地域との比較をつける。	投票
まとめ2 有料席を増加の他、席にセレブ席や婚活席などの料金に差額を付ける他、他市との協働を働きかけ予算の確保を図る。	投票
まとめ3 渋滞を緩和させるために、帰り道に散歩ルートなど、安全性の高い道を確保するなど、工夫する。	投票
備考 大会のあと、ゴミ拾い大会を開催し、歳出の軽減を図る。 花火を見に来れない方に工夫して大会してもらう。 「伊奈氏」にちなんだイベントを実施する。 流行のお笑いライブを盛り込む。	

3つの意見に
まとめて下さい

これは残したいと
という意見は
残してください

⑤発表

まよめのシートを所定の場所に掲示し、発表係がまよめた内容を発表します。

このときどうしてこのような意見となったのかということも説明し、参加者が投票しやすいようにします。

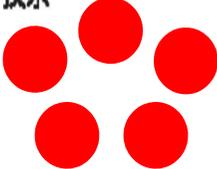
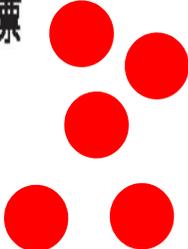
⑥投票

各グループの意見に対して参加者全員が自分の賛同する意見に対しマークを貼るという方法で投票します。

参加者は各自5ポイント保有し、ほかのグループの意見に投票しても構いませんし、1つの意見に対して複数投票しても構いません。

これはどの意見が一番いいか決めるのではなく市民の考え方の傾向、意識を知る事が目的で結論を出すわけではありません。

報告書には意見ごとの票数が明記されます。3つの意見以外で、残したい意見、捨てがたい意見も1つ出せます。(投票の対象にはなりません)

<p>まよめ1</p> <p>イベントを多く増やして、たんぼを利用することで多くの人が花火を楽しめるようにすることで、他地域との比較をつける。</p>	<p>投票</p> 
<p>まよめ2</p> <p>有料席を増加の他、席にセレブ席や婚活席などの料金に差額を付ける他、他市との協働を働きかけ予算の確保を図る。</p>	<p>投票</p> 
<p>まよめ3</p> <p>渋滞を緩和させるために、帰り道に散歩ルートなど、安全性の高い道を確保するなど、工夫する。</p>	<p>投票</p> 
<p>備考</p> <p>大会のあと、ゴミ拾い大会を開催し、歳出の軽減を図る。 花火を見に来れない方に工夫して大会してもらおう。 「伊奈氏」にちなんだイベントを実施する。 流行のお笑いライブを盛り込む。</p>	

Ⅲ. 話し合いのルールと注意点

話し合いのルール

- 1 ニックネームで呼び合しましょう。
 - ・町民同士お互いを尊重しあってください。
- 2 いろいろな意見はみんなの財産
 - ・他の方の意見は否定しないでください。
- 3 自由な発想、恥ずかしがらずに
 - ・むずかしく考えずに気軽に提案してください。
- 4 みんなで楽しく話し合い
 - ・皆さんが参加できるように気遣いをしてください。

注意点

参加討議者の皆様にとって討議しやすい環境をつくるため、以下のことにご協力ください。

討議中

- ・情報提供や討議中の携帯電話・メールのご利用はご遠慮ください。
 - ・討議中のパソコンの使用や個人による録音・カメラ・ビデオ等による撮影は、原則としてご遠慮ください。
 - ・主催者側が討議風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。
 - ・名札は必ずつけてください。
-



Ⅲ. 話し合いのルールと注意点

全体

- ・警備・安全保障の点から指定の場所以外に立ち入らないでください。
- ・施設内は禁煙です。喫煙は休憩時間中に所定の場所をお願いいたします。
- ・ごみはお持ち帰りください。ペットボトルは回収いたします。
- ・自己責任となりますので、貴重品の管理には十分ご注意ください。



情報提供用配付資料

さいたま緑のトラスト運動

伊奈町いきいきミーティング
平成26年9月6日(土)



埼玉県マスコット コバトン

緑のトラスト運動とは？

県民の方々や企業、団体から広く寄附を募り、
県内の優れた自然や歴史的環境を県民共有の
財産として取得し、保全していくもの。

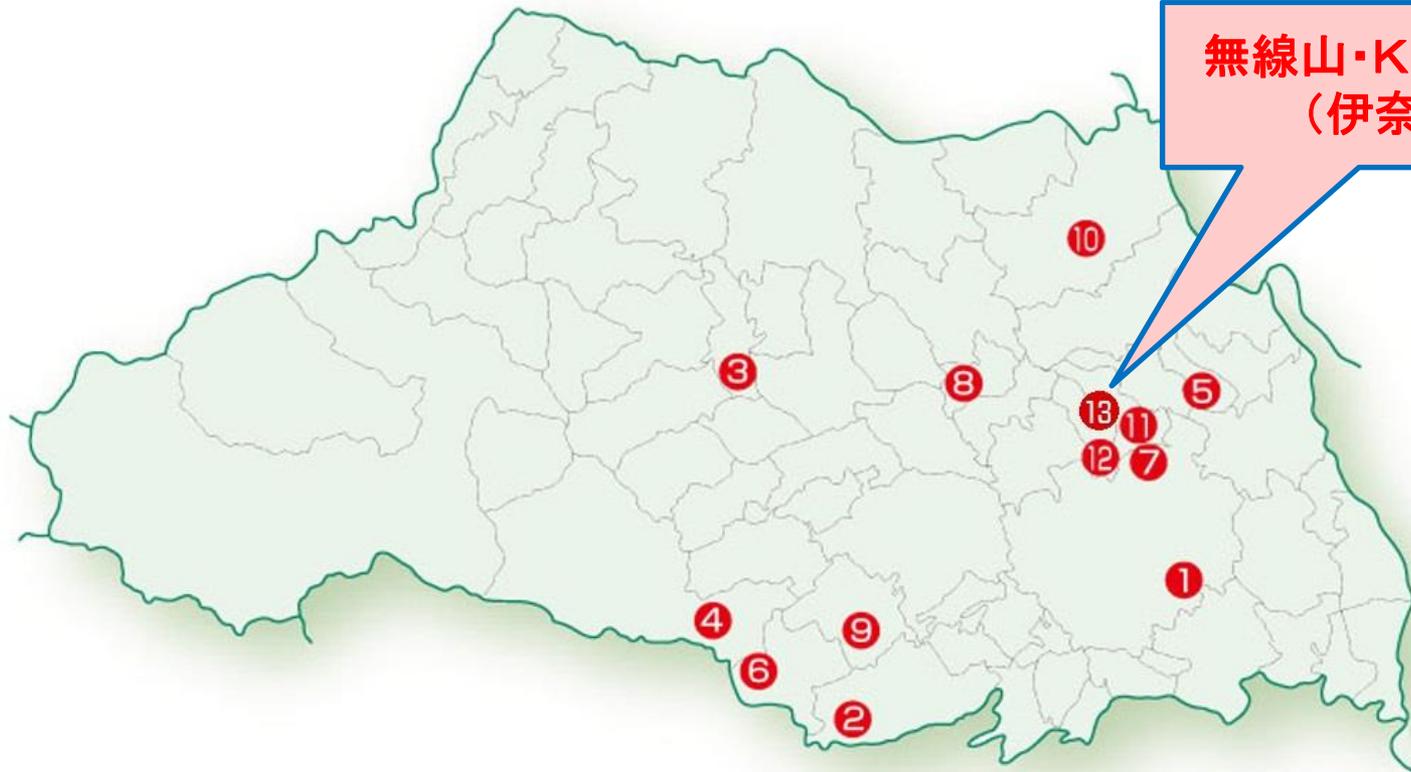


公益財団法人さいたま緑のトラスト協会

トラスト運動を推進するため、昭和59年に県民主体の組織として設立

- ◎普及啓発活動事業
- ◎保全地管理・保全活動事業
- ◎基金募金・広報活動事業

緑のトラスト13の保全地



ふるさと埼玉の優れた自然や歴史的環境を後世に残すため、県民・企業・団体の皆様からの寄付金などを資金として、緑のトラスト保全地を取得し、保全を図っています。

No	名称	所在地	面積	No	名称	所在地	面積
①	見沼田圃周辺 斜面林	さいたま 市緑区	1.1ha	⑦	小川原家屋敷 林	さいたま 市岩槻区	0.7ha
②	狭山丘陵・雑 魚入樹林地	所沢市	3.4ha	⑧	高尾宮岡の景 観地	北本市	3.6ha
③	武蔵嵐山溪谷 周辺樹林地	嵐山町	13.5ha	⑨	堀兼・上赤坂 の森	狭山市	6.0ha
④	飯能河原周辺 河岸緑地	飯能市	2.3ha	⑩	浮野の里	加須市	5.4ha
⑤	山崎山の雑木 林	宮代町	1.4ha	⑪	黒浜沼	蓮田市	6.6ha
⑥	加治丘陵・唐 沢流域樹林地	入間市	11.2ha	⑫	原市の森	上尾市	3.4ha

平成2年から順次取得しています。

これまでの取得面積は約59ヘクタール(さいたまスーパーアリーナ約13個分)になります。県と地元市町村が協力して用地を取得しています。

各トラスト地の紹介



1号地
(さいたま市緑区)



2号地(所沢市)



3号地(嵐山町)



4号地(飯能市)



5号地(宮代町)



6号地(入間市)



7号地
(さいたま市岩槻区)



8号地(北本市)



9号地(狭山市)



10号地(加須市)



11号地(蓮田市)



12号地(上尾市)

平成25年度
13号地決定！「無線山・KDDIの森」 約4.8ha



シンボルのさくら並木



今年のさくらまつりの様子

トラスト協会の活動内容

◎普及啓発活動事業

- ・自然に親しむ会の実施
- ・広報誌の発行やイベントへの参加

◎保全地管理・保全活動事業

- ・保全地の管理
- ・ボランティアのスキルアップ

◎基金募金・広報活動事業

- ・10円玉募金
- ・企業募金

保全管理の基本方針

- 1 県民主体の保全管理を進めます
- 2 周辺地域との調和を保ちます
- 3 生物多様性を保全します
- 4 里地里山として保全再生に努めます
- 5 県民の利用を促進します

ボランティアスタッフによる活動状況



タケノコ掘りと自然観察【1号地】



シイタケのコマ打ち【3号地】



一斉清掃【4号地】



下草刈り後【8号地】

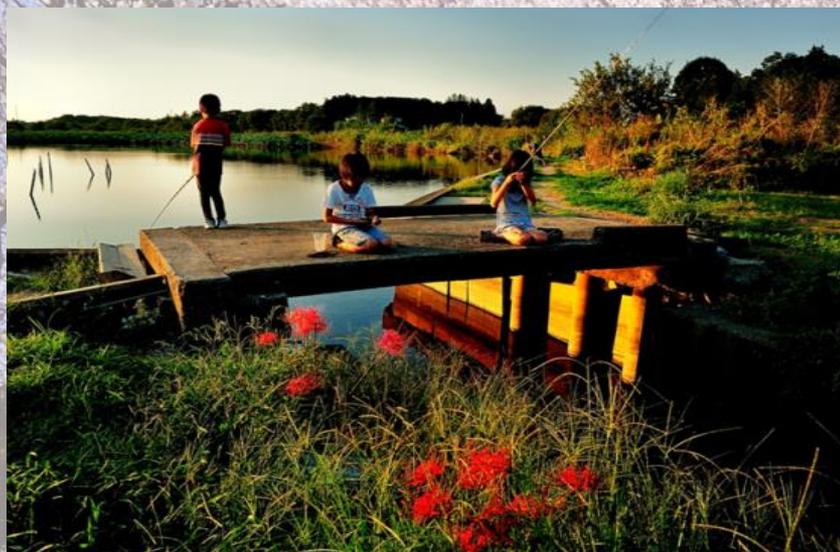


下草刈り【11号地】



イベントへの参加
(こども夢未来フェスティバル2014
県民活動総合センター)

第14回さいたま緑のトラスト写真コンクール 最優秀賞作品
(平成25年度)



トラスト保全地の部
「そろそろ帰る時間だよ!(11号地)」

身近な緑の部
「帰り道(さいたま市)」

募集中

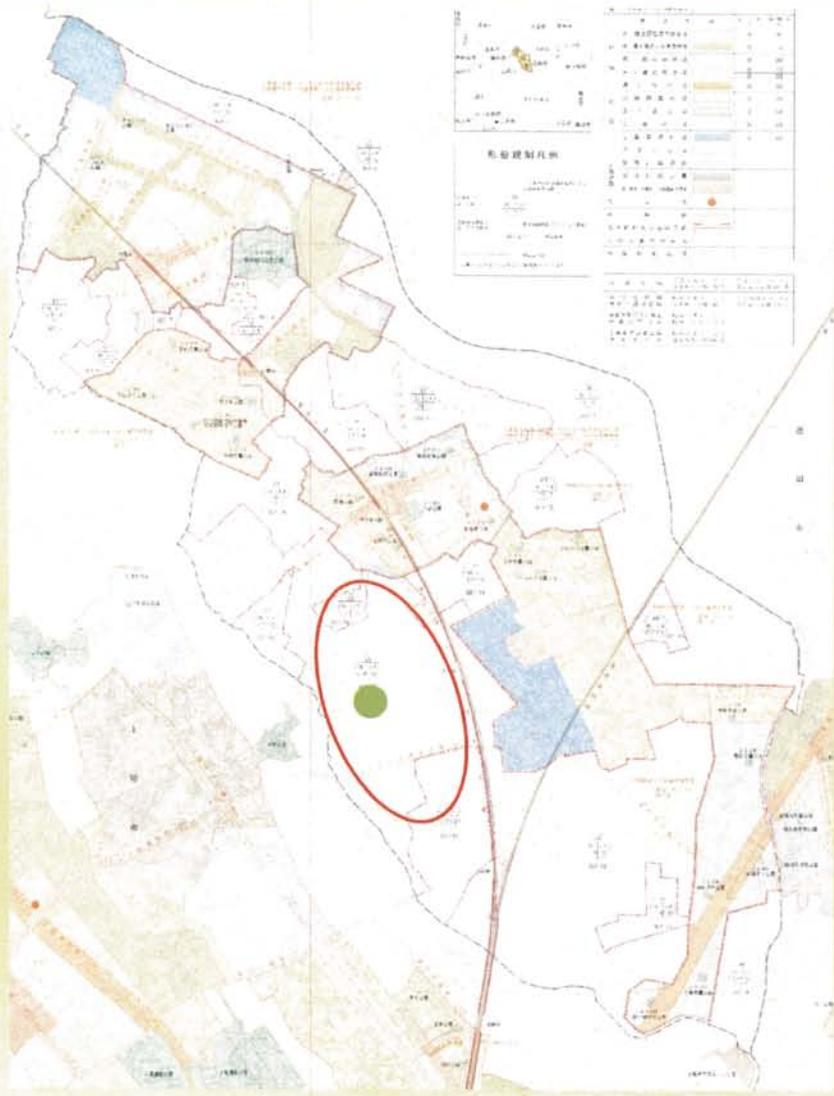
第15回さいたま緑のトラスト写真コンクール
応募期限 12月8日(月)
「無線山・KDDIの森」の写真を是非ご応募ください。
詳しくは、チラシをご覧ください。

おいでよ！緑の無線山

～魅力あるトラスト保全地活用＆私たちが出来ること～

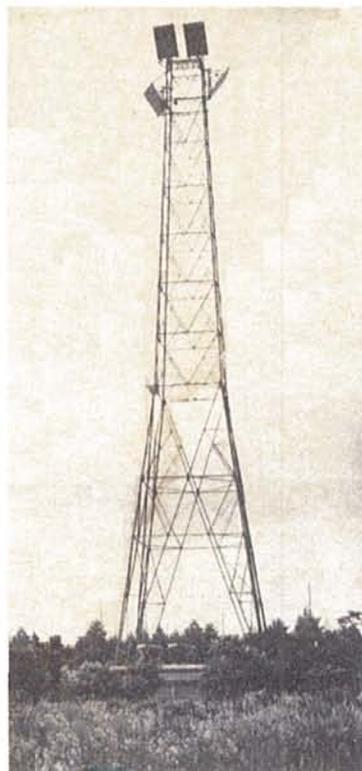
H26.9.6 伊奈町 都市計画課

無線山・トラスト保全地の位置

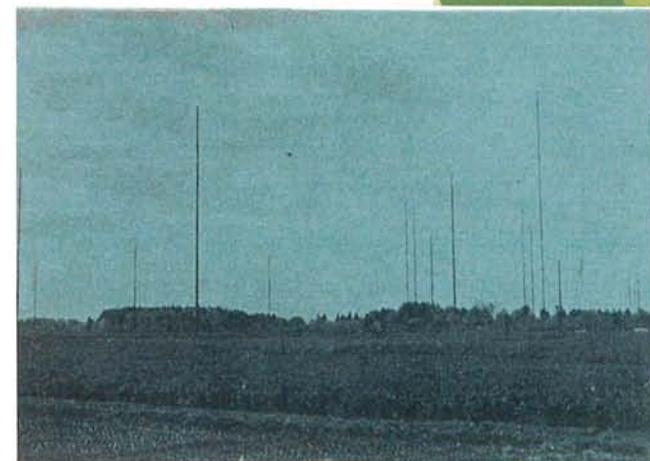


無線山の由来

- ・昭和8年に旧国際電話（現KDDI（株））が無線山に小室受信所を開設
- ・昭和62年の閉鎖まで敷地内に電波塔が数多く設置。



マイクロ波装置



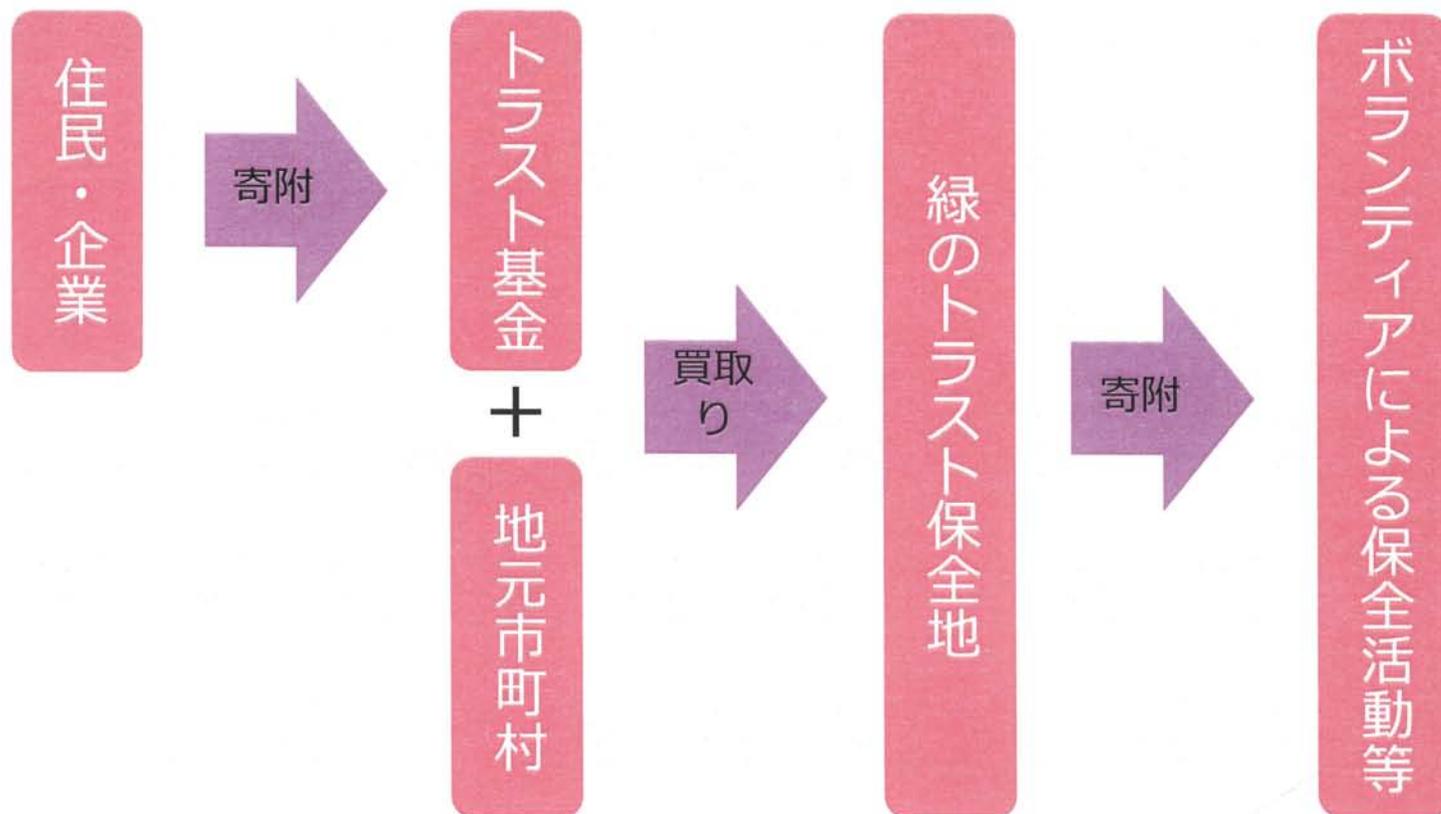
空中線



昭和45年頃の小室受信所

緑のトラスト運動とは？

目的：優れた自然や貴重な歴史的環境を守る。



保全活動



自然観察会等

トラスト保全地の指定

平成25年5月 さいたま緑のトラスト保全地第13号地に決定！！

概要

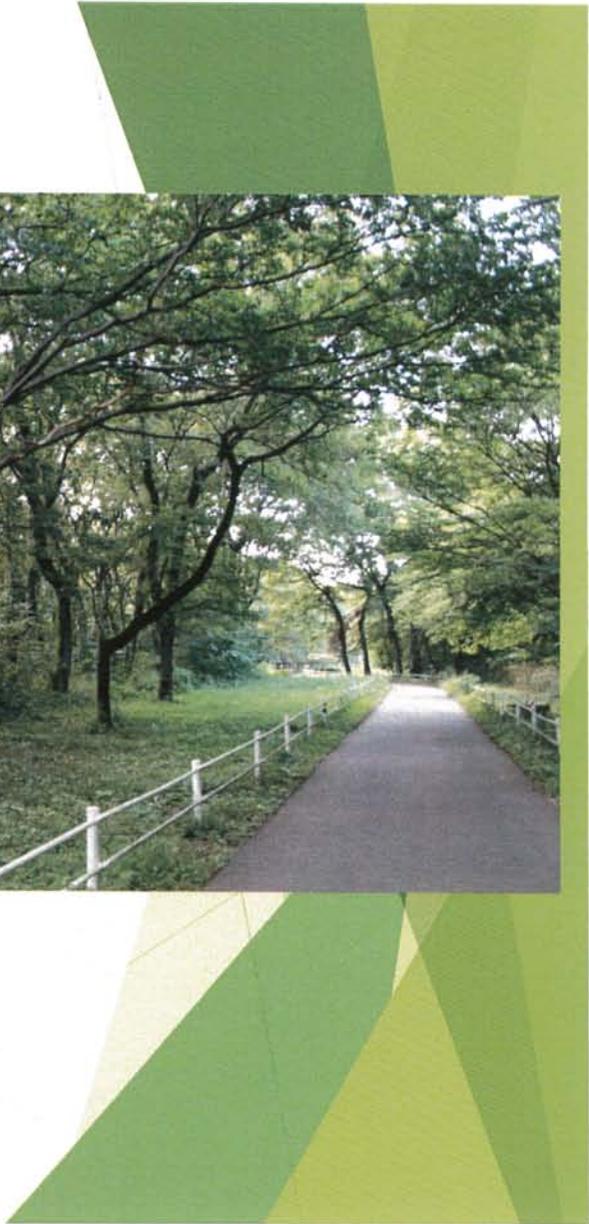
- 名称：無線山・KDDIの森
- 面積：約4.8ha
(うち、KDDI(株)所有地：約4.5ha)
- 特徴：
 - ・志久駅から徒歩5分、都市部近郊に残る貴重な樹林地
 - ・区域内で開催される「無線山さくらまつり」に3万人を超える花見客
 - ・周辺には、県立がんセンターや日本薬科大学が立地
- KDDI(株)から、緑地の寄附・保全活動への協力申し出(約3.8haを寄附)



トラスト保全地の現況



さくらまつり



トラスト保全地の今後のスケジュール

- 平成26年度 用地取得（埼玉県、伊奈町）
自然環境調査
- 平成27年度 保全整備工事の実施
ボランティア公募、保全活動開始

緑の協定

伊奈町が日本薬科大学、国際学院と緑の協定を締結
→良好な緑地環境の維持

トラスト保全指定記念

緑のふれあい・体験イベント

10月26日（日） 10時～15時
トラスト保全地内 特設会場

- ・自然観察会（10時～）
- ・ボランティア体験（13時～）
- ・大学内見学ツアー（14時～）
- ・クラフト教室
- ・野外コンサート（13時～）
- ・スタンプラリー
- ・苗木配布（先着100名限定）
- ・無線山パネル展
- ・トラスト運動パネル展



伊奈町マスコットキャラクター
「ローズくん」、「ローズちゃん」

ご参加をお待ちしております。

あとがき

今年で4回目となります伊奈町民討議会に参加してくださいました伊奈町の皆様、共催の伊奈町役場関係者の皆様、ご協力頂きました伊奈町商工会青年部の皆様、情報提供をしてくださいました皆様、そしてテーブルサポーターとして参加してくださいました町民や日本薬科大学の皆様、誠にありがとうございました。当日の設営等至らないところも多々あったかと思いますが、町民の皆様の温かいご協力とご理解の下、無事に開催することが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

今年の町民討議会では、以前町民討議会にご参加いただいた3名の方にテーブルサポーターとしてご参加いただき、また日本薬科大学の学生4名にもテーブルサポーターとして参加していただきました。今回のテーマ「おいでよ！緑の無線山」～魅力あるトラスト保全地活用&私たちが出来ること～ について、町民の皆様がしっかりと意見を出しあって活気のある討議会となり、行政に対する提言をまとめることができました。そしてこのような討議会に参加出来て良かったと町民の皆様からも御好評をいただくことができました。町民の皆様の声を提言としてまとめさせていただくことが、伊奈町の更なる発展に繋がればと切に願い、結びとさせていただきます。

平成26年10月

公益社団法人埼玉中央青年会議所

地域創造委員会 委員長 河野 淳行

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」～実施報告書～

作 成：公益社団法人埼玉中央青年会議所

作成日：平成26年10月30日

2014年度 公益社団法人埼玉中央青年会議所

第19代理事長 星野 真一

副理事長 黒須喜美雄

担当常任理事 大場 守

地域創造委員会

委員長 河野 淳行

副委員長 石丸 主憲、根岸 昌也

幹 事 中村 真人、篠崎 貴暁、浜野 洋一

委 員 岩崎 英治、宇佐見耕司、金子 善英、小島加代子、寺長根大悟

公益社団法人埼玉中央青年会議所ホームページ

<http://www.jc766.com/>

伊奈町ホームページ

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>

公益社団法人さいたま緑のトラスト協会

<http://saitama-greenerytrust.com/>